

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

## 入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 7123

件名	公共下水道40分区枝線工事	
履行場所	海老名市 社家五丁目 地内	
工期	令和7年6月11日～令和7年12月2日(175日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○週休2日制確保工事の対象案件	
予定価格	51,304,000 円 (税込)	46,640,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	010 土木一式 経審 550 点以上 - 点未満 ※経審は最新の評価点で判断します。	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円(建築一式工事の場合は8千万円)以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり (第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで) 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について	本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 (システム添付)	参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していることを証する書類の写し。(次の(1)～(3)のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書(経営事項審査)の写し ※ <u>経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) (同通知書発行後に社会保険に加入した場合)健康保険、厚生年金保険及び労働(雇用)保険料の領収書の写し (3) (法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 (システム添付)	○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		

落札候補者が  
提出する書類  
(FAX046-232-6574)

開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。  
(落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。)

- 配置技術者等に関する書類
- 建設業許可の確認できる書類

**※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び  
保険者番号(3箇所)にマスキング(黒塗り)をして提出してください。**

# 案内図

工事名称 : 公共下水道40分区枝線工事

工事場所 : 海老名市 社家五丁目 地内



# 施工条件明示書（土木工事共通）

## 1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	公共下水道40分区枝線工事		
工事場所	海老名市	社家五丁目	地内
工事目的	本工事は、公共下水道を整備することにより、地域住民の衛生環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図るために実施するものです。		
工事概要	1. 管きょ工…1式 2. マンホール工…1式 3. 取付管およびます工…1式 4. 付帯工…1式 5. 仮設工…1式		
契約工期	令和7年6月11日	から	令和7年12月2日 まで
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金事業	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	
	<input type="checkbox"/> 市単独事業	<input type="checkbox"/> 県費	
設計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単独積算		
	<input type="checkbox"/> 合算積算		工事 工事

## 2 積算諸条件

- 主たる工種 : 下水道（2）
- 施工地域・工事場所区分 : 一般交通影響あり（2）
- 契約保証の方法 : 発注者が金銭的補償を必要とする
- 施工パッケージの使用（一部使用含む） :  有  無
- 週休二日制確保工事該当の有無 :  発注者指定(当初計上)  受注者希望(変更補正)  無

### 【使用歩掛及び単価等】

- |   |         |     |    |
|---|---------|-----|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> 土木工事標準積算基準書 | 適用年版：令和 | 6年  | 7月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 諸経費率        | 適用年版：令和 | 6年  | 7月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 下水道用設計標準歩掛表 | 適用年版：令和 | 6年版 |    |
| <input checked="" type="checkbox"/> 土木工事資材等単価表  | 適用年版：令和 | 7年  | 3月 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 刊行物         | 適用年版：令和 | 7年  | 1月 |
| <input type="checkbox"/> 特別調査                   | 適用年版：令和 | 年   | 月  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 海老名市見積単価等   | 適用年版：令和 | 6年度 |    |
| <input type="checkbox"/> その他（ ）                 | 適用年版：令和 | 年   | 月  |

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	<input type="checkbox"/> 無 (他工事件名等) 市道512号線歩道設置工事 (道路整備課)	
			<input checked="" type="checkbox"/> 有 (工期、内容等) 工事重複区間については早期完成させること	
	2	当工事における施工時期の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (制約を受ける施工内容等)	
			<input type="checkbox"/> 有 (施工時期等)	
	3	施工時間について	<input checked="" type="checkbox"/> 昼間施工 (その他特記事項)	
			<input type="checkbox"/> 夜間施工 (一部含む)	
4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (関係機関名)		
		<input type="checkbox"/> 有		
5	工事着手前に地上物件 (家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対象内容)		
		<input type="checkbox"/> 有		
※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。				
6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	<input type="checkbox"/> 無 (詳細内容、作業不能日数等)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 有 夏季休暇3日		
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について (用地買収状況について)	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (用地未取得部分等)	
			<input type="checkbox"/> 有 (取得予定年月日等)	
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等)	
		<input type="checkbox"/> 有		
3	使用後の復旧条件	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (復旧内容等)		
		<input type="checkbox"/> 有		
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	<input type="checkbox"/> 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法・振動規制法	
			<input checked="" type="checkbox"/> 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法・振動規制法	
2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 (対策内容)		
		<input type="checkbox"/> 有		

【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （指定内容） <input type="checkbox"/> 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input checked="" type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	<input type="checkbox"/> 無 （1）交通誘導員の配置 現場交通状況により2名配置（交代要員あり） <input checked="" type="checkbox"/> 有 （2）配置期間 作業期間中（昼）
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （搬入経路・使用期間等の制限） <input type="checkbox"/> 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （仮設道路に関する安全施設） <input type="checkbox"/> 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （建設発生土の処分先） <input checked="" type="checkbox"/> 有           名称：田代受入地 住所：神奈川県愛甲郡愛川町田代1951番 事業者：株式会社織戸組 相川事業所 電話：046-281-1012
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊 <input type="checkbox"/> 建設発生木材 <input type="checkbox"/> 建設発生木材（伐木・除根材） <input checked="" type="checkbox"/> 建設汚泥 <input type="checkbox"/> 建設混合廃棄物 <input type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> その他（ ） ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。			
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> 電柱 <input type="checkbox"/> 上水道 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ガス管 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 架空電線 <input type="checkbox"/> 標識・看板 <input type="checkbox"/> その他（ ）

【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(対象内容)
			工法区分： 使用材料： <input type="checkbox"/> 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：	
【9】 その他	1	工事現場発生品がある 場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(品名、数量等)
			<input type="checkbox"/> 有	
	2	支給材料及び貸与品が ある場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(品名、数量等)
			<input type="checkbox"/> 有	
	3	特殊・特定使用材料を 使用する場合及び資材 搬入等に制限がある場 合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(品名、数量、搬入制限等)
			<input type="checkbox"/> 有	
4	発生売却品評価額（ス クラップ等）を計上し ている場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無	(品名等)	
		<input type="checkbox"/> 有	例) H鋼 100t	
5	公ます設置について	<input type="checkbox"/> 無		
		<input checked="" type="checkbox"/> 有	宅地内に設置する公共汚水樹の整備については、 地権者の意向を確認してからの作業になります。	
6		<input checked="" type="checkbox"/> 無		
		<input type="checkbox"/> 有		

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

# 工事説明書

(特記仕様書)

工事件名:公共下水道40分区枝線工事

工事場所:海老名市 社家五丁目 地内

## 1 目的

本工事は、公共下水道を整備することにより、地域住民の衛生環境の向上及び公共用水域の水質の保全を図るために実施するものです。

## 2 工事概要

- |                |          |
|----------------|----------|
| 1 管きょ工…1式      | 4 付帯工…1式 |
| 2 マンホール工…1式    | 5 仮設工…1式 |
| 3 取付管およびます工…1式 |          |

## 3 仕様(施工管理)

- ・ 本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び海老名市土木工事施工管理基準に準じて施工すること。
- ・ 原則として、アスベストを原料としない建材を用いて施工すること。また、使用材料については、アスベストを原材料としていない旨の証明書をメーカーより提供させ、監督職員の確認を得ること。
- ・ 型枠材料については、熱帯雨林材の使用を避けること。
- ・ 海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し、提出することとするが、詳細については、監督員と協議し、決定する。
- ・ 本工事請負業者は、再生砂(RC-10)を使用する場合、製造者側から試験結果報告書を入手し六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けること。
- ・ 上記以外の内容については、監督員と協議すること。また、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

## 4 工程管理

- ・ 契約工期 **令和7年6月11日** から **令和7年12月2日**

## 5 安全対策

- ・ 工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者、道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。  
特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないように、安全対策(安全柵等)を行うこと。

## 6 仮設備関係

- ・ 仮設備(現場事務所等)の建設は、位置、規模等について監督員の承諾を得ること。  
工事用水等は、請負業者の負担とする。

## 7 道路交通関係

- ・ 本工事は、昼間施工とする。
- ・ 看板による工事予告及び迂回のお願いは、工事着手日の原則1週間以上前から行うこと。十分な周知を行わない限り、現場着手を認めない。
- ・ 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。
- ・ 一般道路を使用するときは、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。
- ・ 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

## 8 建設副産物関係

- ・ 建設残土の処分地は、田代受入地とする。  
場 所:神奈川県愛甲郡愛川町田代1951番地  
業者名:株式会社織戸組 愛川事業所
- ・ その他建設副産物の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。  
※ 尚、本工事は、建設リサイクル法適用工事です。

## 9 海老名環境マネジメントシステム関係

- ・ 本工事は、海老名環境マネジメントシステムの公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり発注者の伝達事項を遵守し、下表の事項に留意し施工すること。

作 業	配 慮 事 項
掘 削	排出土の発生を抑える整備内容・構造を検討する
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える
排出土処理	極力現場内での利用を図る
	搬出する場合は他の市内工事での利用を図る
	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石、再生砂を使用する
コンクリート 取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する(マニフェスト管理)
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える
アスファルト 取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する(マニフェスト管理)
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える
構造物	二次製品を積極的に使用する
	基礎材は再生砕石および再生砂を使用する
	熱帯材以外のコンクリート型枠を使用する
付帯工	基礎材は再生砕石とする
舗装工 (車道及び歩道)	舗装材には一部を除き、リサイクル材を採用する。
路盤工	路盤材に再生粒度調整砕石、再生砕石を使用する
仮設工	木製支保工に換えてアルミ腹起こし及びアルミ水圧サポートの使用に努める
工事作業機械・車両 運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドルリングをしない

## 10 工事全般

- ・ 事前調査は十分に行い、不明確な部分については工事打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。  
なお、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。
- ・ 工事に際し、現場代理人および主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人においては、作業中現場に常駐すること。
- ・ 現場から発生する不要物等が、民地部に飛散、流出等しないよう必要な処置を講じること。
- ・ 現場で市民等により工事内容の説明を求められた際は、説明責任を果たすこと。
- ・ 騒音・振動及び粉塵等工事沿線住民に対し、不利益になりうることは工事期間及び時間等、十分に配慮し、施工にあたること。
- ・ 撤去殻は大きな音が出ないように投げたりせず、そっと積み込みを行うこと。また、重機等の重量物を移動する際は、ゆっくりと正確に行うこと。
- ・ 本管部における埋戻しについては1スパン(人孔間)毎に現場密度の測定を行うこと。
- ・ 本管布設後、監督員の立会いの元、管路の通りや浸入水等を確認した上で復旧すること。
- ・ 施工工程全般において、5cm以上の段差を生じさせないこと。
- ・ 乳剤の散布を行う場合は飛散防止の養生を確実に行うこと。また、合材運搬車両等の工事車両は乳剤を付着させたまま、既設道路を走り、舗装面を汚さないように対策を講じること。万が一、既設道路を汚してしまった場合は、請負者で責任をもち清掃すること。
- ・ ゴミ集積所が工事区間内にある場合は、関係部局へ届け出ること。
- ・ 関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち、責務を果たすこと。
- ・ 区画線の施工を行う場合は、交通管理者および道路管理者との協議を行い施工すること。
- ・ 当該地については発生土の水分量が多いため、十分に乾燥させてから処分場へ搬出すること。また、発生土の乾燥においては自社の置場もしくはそれに類する場所を手配し、作業にあたること。なお、自社の仮置場を有しない場合、自費にて仮置場を手配すること。
- ・ 資材置場、現場事務所等の用により農地を一時的に使用する場合は、工事を実施する前に本市農業委員会への届け出を行うとともに、許可書の写しを事業発注課に提出すること。また工事完了後の返却する時においては、監督員、現場代理人たちあいのもと、現地の確認を行い請負者は完了届等の書類の写しを事業発注課に提出することとする。

## 11 関係官公庁その他への手続き

- ・ 請負者は、業務を実施するため、関係官公庁等に対する諸手続きが必要な場合は、速やかに行うものとする。

## 12 土地への立入り等

- ・ 請負者は、業務を実施するために国有地、公有地又は私有地に立ち入る場合は、関係者と十分な協調を保ち、監理業務が円滑に進捗するように努めなければならない。なお、やむを得ない理由により、現地への立ち入りが不可能となった場合には、直ちに監督職員に報告し、協議しなければならない。

## 13 守秘義務

- ・ 請負者は、業務の処理上で知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

## 14 履行報告義務

- ・ 請負者は、着手前と毎月末に履行報告書を提出し、業務進捗状況を報告するものとする。なお、様式は指定様式とし、実施比較表を添付の上、進捗状況が詳細に認出来る様記載するものとする。

## 15 新型コロナウイルス感染症対策関係

- ・ 受注者は、下請負者等の関連会社を含め新型コロナウイルス感染症対策に努めるとともに、罹患者が確認されたときには速やかに発注者に報告し、以降の履行について協議すること。

## 16 その他

- ・ 本作業を進める上で疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議の上、実施するものとする。また、協議については書面(打合せ記録簿)で行うものとする。  
また、本特記仕様書及び別紙施工条件明示書に定めのない疑義事項については、監督職員と協議のうえ、履行するものとする。
- ・ 請負者は、上記事項をすべて理解した上で工事契約及び施工にあたること

## 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

### (趣旨)

第1条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

### (適用)

第2条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

### (処理方法)

第3条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

### (条件)

- 第4条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。
- 2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

### (提出書類等)

- 第5条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。
- 2 受注者は、産業廃棄物管理票(紙マニフェスト)又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

### (その他)

第6条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

特記仕様書（受注者希望型）

**週休2日制確保工事に関する特記仕様書(土木工事)  
(受注者希望型)**

**1. 週休2日制確保工事について**

- ・本工事は、「海老名市週休2日制度確保工事試行要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。
- ・本工事は「受注者希望型」で実施する。
- ・要領や提出書類等は市ホームページから入手すること。

**2. アンケートについて**

- ・受注者は、同意・不同意に関わらず、アンケートに協力するものとし、工事完了後、工事完成届とあわせて市に提出すること。

令和 7 年 度

公共下水道 40 分区 枝線 工事 設計 書

番 号	歩掛R6.7 単価R7.3	施 工 年 度	令和7年度
名 称	公共下水道40分区枝線工事		
場 所	海老名市 社家五丁目 地内		
施 工 主	海老名市	<p>概要</p> <p>工事延長 L=314.0m</p> <p>管きょ工 1.0式 塩ビ管 (φ200) L=308.84m</p> <p>マンホール工 1.0式 組立1号マンホール N=4.0箇所 組立0号マンホール N=3.0箇所</p> <p>取付管およびます工 1.0式 ます設置 N=10.0箇所 取付管布設 L=32.1m</p> <p>付帯工 1.0式 仮復旧、本復旧、区画線</p> <p>仮設工 1.0式 交通誘導警備員</p>	
設 計 区 分	下水道工事(2)		
路 線 名			
期 間	令和7年6月11日～令和7年12月2日		
日 数	175日		
部 課 名	まちづくり部 下水道課		
積 算 担 当	管路施設係		
合 計 額			
価 格			
消費税相当額			





# 間 接 費 明 細 書

設 計 条 件				
工 種	下水道工事(2)	工事日数(内冬日数)	175日/32日	共通仮設費対象外額
場所区分	一般交通影響有り(2)	支給品費		現場管理費対象外額
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額
積雪寒冷地域	なし			

## 算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned}
 \text{共通仮設費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\
 &= \quad \times \quad \% \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\
 &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\
 &= \quad \% \times \\
 &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \%
 \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned}
 \text{現場管理費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\
 &= \quad \times \quad \% \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\
 &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\
 &= \quad \% \times \\
 &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \%
 \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

# 間 接 費 明 細 書

算 出 基 礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{前払補正} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

































B- 11号		仮復旧工					1式当たり	明細書
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	657				施工P-01	
舗装版切断濁水処理工	北部地区	式	1				C- 25号単価表	
舗装版破砕	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:必要	m <sup>2</sup>	324				施工P-02	
	舗装版厚:15cm以下							
殻運搬	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:有り	m <sup>3</sup>	16				施工P-03	
	運搬距離:6.5km以下							
廃材処理料(北部地区)	A S 殻	m <sup>3</sup>	16					
機械掘削工(小型バックホウ)	山積0.13m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	98				D- 21号単価表	
路盤材処分工(機械積込み)	2t積(良好)、山積0.13m <sup>3</sup> 積込	m <sup>3</sup>	98				D- 29号単価表	
表層(歩道部)	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:再生密粒度アスコン(13)	m <sup>2</sup>	17				施工P-04	
	瀝青材料種類:無し							
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工	m <sup>2</sup>	17				施工P-05	
下層路盤(歩道部)	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工	m <sup>2</sup>	17				施工P-06	



B- 11号明細書(施工P-01)  
舗装版切断

積算単位:m

標準単価:

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			15.42			
K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式/切削深20cm級 フレート径 φ56cm	供/日	10.49			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			57.13			
R 1	特殊作業員	人	19.60			
R 2	土木一般世話役	人	10.55			
R 3	普通作業員	人	8.73			
R 4						
R 5						
材料 Z			27.45			
Z 1	コンクリートカッタ(フレート)/径18インチ	枚	23.29			
Z 2	ガソリン/レギュラー, スタンド渡し	ℓ	2.83			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{10.49}{100} \times \frac{15.42}{10.49} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{19.60}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{10.55}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{8.73}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} \right) \\
 & + \left( \frac{23.29}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} + \frac{2.83}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} \right) \\
 & \left. + \frac{100-15.42-57.13-27.45}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 11号明細書(施工P-02)  
舗装版破碎

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

舗装版種別:アスファルト舗装版、障害等の有無:無し、騒音振動対策:必要、舗装版厚:15cm以下

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			31.76			
K 1	バックホ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) / 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN	供/日	21.93			
K 2	バックホ(クローラ、後超小旋回・超低騒音)賃料 / 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	日	9.83			
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			62.64			
R 1	運転手(特殊)	人	28.07			
R 2	普通作業員	人	24.15			
R 3	土木一般世話役	人	10.42			
R 4						
R 5						
材料Z			5.60			
Z 1	軽油 / ハトロール給油	ℓ	5.60			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{21.93}{100} \times \frac{31.76}{21.93+9.83} + \frac{9.83}{100} \times \frac{31.76}{21.93+9.83} \right) \times \frac{31.76}{21.93+9.83} \right. \\
 & + \left( \frac{28.07}{100} \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} + \frac{24.15}{100} \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} + \frac{10.42}{100} \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} \right) \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} \\
 & + \left( \frac{5.60}{100} \times \frac{5.60}{5.60} \right) \times \frac{5.60}{5.60} \\
 & \left. + \frac{100-31.76-62.64-5.60}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 11号明細書(施工P-03)  
 殻運搬

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

殻発生作業: 舗装版破碎、積込工法区分: 機械積込(小規模土工)、DID区間の有無: 有り、運搬距離: 6.5km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			18.57			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル/2t積級+良好: タイヤ損耗費及び補修費	供/日	18.57			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			72.35			
R 1	運転手(一般)	人	72.35			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			9.08			
Z 1	軽油/パトロール給油	ℓ	9.08			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{18.57}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{18.57}{18.57} \right. \\
 & + \left( \frac{72.35}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{72.35}{72.35} \\
 & + \left( \frac{9.08}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{9.08}{9.08} \\
 & \left. + \frac{100-18.57-72.35-9.08}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 11号明細書(施工P-04)  
表層(歩道部)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 40mm

4号

平均幅員: 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚: 実数入力、材料: 再生密粒度アスコン(13)、瀝青材料種類: 無し

名	称	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(	東	京	)	単	価	摘	要
機械	K							0.47										
	K 1	振動ローラ(舗装用) ハンドガート式		／	運	轉	質	量	0.5~0.6t	供	/	日		0.35				
	K 2	振動コンパクタ 前進型		／	機	械	質	量	40~60kg	供	/	日		0.09				
	K 3																	
	K 4																	
	K 5																	
労務	R							50.62										
	R 1	特殊作業員			人			21.87										
	R 2	普通作業員			人			19.54										
	R 3	土木一般世話役			人			5.90										
	R 4																	
	R 5																	
材料	Z							48.91										
	Z 1	再生アスファルト混合物 (小型車)		／	再	生	粗	粒	度	ア	ス	コ	ン	(	20			
	Z 2	カソリン/レキユール, スタンド渡し			ℓ			0.12										
	Z 3	軽油/ハンドロール給油			ℓ			0.05										
	Z 4																	
	Z 5																	
市場	S																	

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.35}{100} \times \frac{0.47}{0.35+0.09} + \frac{0.09}{100} \times \frac{0.47}{0.35+0.09} \right) \times \frac{0.47}{0.35+0.09} \right. \\
 & + \left( \frac{21.87}{100} \times \frac{50.62}{21.87+19.54+5.90} + \frac{19.54}{100} \times \frac{50.62}{21.87+19.54+5.90} + \frac{5.90}{100} \times \frac{50.62}{21.87+19.54+5.90} \right) \times \frac{50.62}{21.87+19.54+5.90} \\
 & + \left( \frac{48.73}{100} \times \frac{48.91}{48.73+0.12+0.05} + \frac{0.12}{100} \times \frac{48.91}{48.73+0.12+0.05} + \frac{0.05}{100} \times \frac{48.91}{48.73+0.12+0.05} \right) \times \frac{48.91}{48.73+0.12+0.05} \\
 & \left. + \frac{100-0.47-50.62-48.91}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 11号明細書(施工P-05)  
 上層路盤(歩道部)  
 全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
 入力数量: 160mm  
 4号

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.20			
K 1	小型バックホウ(クロー、標準) 賃料 / 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> ) (排出ガス対策型含む)	日	2.69			
K 2	振動ロー(舗装用、搭乗・コンバインド式) 賃料 / 質量 3~4 t (排出ガス対策型含む)	日	2.36			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			67.43			
R 1	普通作業員	人	28.22			
R 2	運転手(特殊)	人	24.35			
R 3	特殊作業員	人	12.90			
R 4						
R 5						
材料 Z			27.37			
Z 1	再生粒度調整砕石 / RM-40	m <sup>3</sup>	25.44			
Z 2	軽油 / ハトロール給油	ℓ	1.88			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{2.69}{100} \times \frac{5.20}{2.69+2.36} + \frac{2.36}{100} \times \frac{5.20}{2.69+2.36} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{28.22}{100} \times \frac{67.43}{28.22+24.35+12.90} + \frac{24.35}{100} \times \frac{67.43}{28.22+24.35+12.90} + \frac{12.90}{100} \times \frac{67.43}{28.22+24.35+12.90} \right) \\
 & + \left( \frac{25.44}{100} \times \frac{27.37}{25.44+1.88} + \frac{1.88}{100} \times \frac{27.37}{25.44+1.88} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.20-67.43-27.37}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 11号明細書(施工P-06)  
 下層路盤(歩道部)  
 全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
 入力数量: 200mm

4号

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.62			
K 1	小型バックホウ(クローラ、標準) 賃料 / 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> ) (排出ガス対策型含む)	日	2.91			
K 2	振動ロー(舗装用、搭乗・コンバインド式) 賃料 / 質量 3~4 t (排出ガス対策型含む)	日	2.55			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			72.88			
R 1	普通作業員	人	30.50			
R 2	運転手(特殊)	人	26.32			
R 3	特殊作業員	人	13.94			
R 4						
R 5						
材料 Z			21.50			
Z 1	再生クラッシュヤーン / RC-40	m <sup>3</sup>	19.41			
Z 2	軽油 / パトロール給油	ℓ	2.03			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{2.91}{100} \times \frac{5.62}{2.91+2.55} + \frac{2.55}{100} \times \frac{5.62}{2.91+2.55} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{30.50}{100} \times \frac{72.88}{30.50+26.32+13.94} + \frac{26.32}{100} \times \frac{72.88}{30.50+26.32+13.94} + \frac{13.94}{100} \times \frac{72.88}{30.50+26.32+13.94} \right) \\
 & + \left( \frac{19.41}{100} \times \frac{21.50}{19.41+2.03} + \frac{2.03}{100} \times \frac{21.50}{19.41+2.03} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.62-72.88-21.50}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 11号明細書(施工P-07)  
表層(歩道部)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 40mm

3号

平均幅員: 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚: 実数入力、材料: 再生密粒度アスコン(13)、瀝青材料種類: 無し

名	称	規	格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械	K				0.47			
	K 1	振動ロー(舗装用)	ハンドガート式	供/日	0.35			
	K 2	振動コンパクタ	前進型	供/日	0.09			
	K 3							
	K 4							
	K 5							
労務	R				50.62			
	R 1	特殊作業員		人	21.87			
	R 2	普通作業員		人	19.54			
	R 3	土木一般世話役		人	5.90			
	R 4							
	R 5							
材料	Z				48.91			
	Z 1	再生アスファルト混合物(小型車)	再生粗粒度アスコン(20)	t	48.73			
	Z 2	カソリン	レキユール, スタンド渡し	ℓ	0.12			
	Z 3	軽油	ハンドロール給油	ℓ	0.05			
	Z 4							
	Z 5							
市場	S							

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.35}{100} \times \frac{0.47}{0.35+0.09} + \frac{0.09}{100} \times \frac{0.47}{0.35+0.09} \right) \times \frac{0.47}{0.35+0.09} \right. \\
 & + \left( \frac{21.87}{100} \times \frac{50.62}{21.87+19.54+5.90} + \frac{19.54}{100} \times \frac{50.62}{21.87+19.54+5.90} + \frac{5.90}{100} \times \frac{50.62}{21.87+19.54+5.90} \right) \times \frac{50.62}{21.87+19.54+5.90} \\
 & + \left( \frac{48.73}{100} \times \frac{48.91}{48.73+0.12+0.05} + \frac{0.12}{100} \times \frac{48.91}{48.73+0.12+0.05} + \frac{0.05}{100} \times \frac{48.91}{48.73+0.12+0.05} \right) \times \frac{48.91}{48.73+0.12+0.05} \\
 & \left. + \frac{100-0.47-50.62-48.91}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 11号明細書(施工P-08)

上層路盤(歩道部)

全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

入力数量: 110mm

3号

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.20			
K 1	小型バックホ(クロー、標準) 賃料 / 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> ) (排出ガス対策型含む)	日	2.69			
K 2	振動ロー(舗装用、搭乗・コンバインド式) 賃料 / 質量 3~4 t (排出ガス対策型含む)	日	2.36			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			67.43			
R 1	普通作業員	人	28.22			
R 2	運転手(特殊)	人	24.35			
R 3	特殊作業員	人	12.90			
R 4						
R 5						
材料 Z			27.37			
Z 1	再生粒度調整砕石 / RM-40	m <sup>3</sup>	25.44			
Z 2	軽油 / パトロール給油	ℓ	1.88			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{2.69}{100} \times \frac{5.20}{2.69+2.36} + \frac{2.36}{100} \times \frac{5.20}{2.69+2.36} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{28.22}{100} \times \frac{67.43}{28.22+24.35+12.90} + \frac{24.35}{100} \times \frac{67.43}{28.22+24.35+12.90} + \frac{12.90}{100} \times \frac{67.43}{28.22+24.35+12.90} \right) \\
 & + \left( \frac{25.44}{100} \times \frac{27.37}{25.44+1.88} + \frac{1.88}{100} \times \frac{27.37}{25.44+1.88} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.20-67.43-27.37}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 11号明細書(施工P-09)  
 下層路盤(歩道部)  
 全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
 入力数量: 200mm

3号

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			5.62			
K 1	小型バックホウ(クローラ、標準) 賃料 / 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> ) (排出ガス対策型含む)	日	2.91			
K 2	振動ロー(舗装用、搭乗・コンバインド式) 賃料 / 質量 3~4 t (排出ガス対策型含む)	日	2.55			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			72.88			
R 1	普通作業員	人	30.50			
R 2	運転手(特殊)	人	26.32			
R 3	特殊作業員	人	13.94			
R 4						
R 5						
材料 Z			21.50			
Z 1	再生クラッシュヤーン / RC-40	m <sup>3</sup>	19.41			
Z 2	軽油 / パトロール給油	ℓ	2.03			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{2.91}{100} \times \frac{5.62}{2.91+2.55} + \frac{2.55}{100} \times \frac{5.62}{2.91+2.55} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{30.50}{100} \times \frac{72.88}{30.50+26.32+13.94} + \frac{26.32}{100} \times \frac{72.88}{30.50+26.32+13.94} + \frac{13.94}{100} \times \frac{72.88}{30.50+26.32+13.94} \right) \\
 & + \left( \frac{19.41}{100} \times \frac{21.50}{19.41+2.03} + \frac{2.03}{100} \times \frac{21.50}{19.41+2.03} \right) \\
 & \left. + \frac{100-5.62-72.88-21.50}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 12号 1式当たり 明細書

本復旧工

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	20			施工P-01
舗装版切断濁水処理工	北部地区	式	1			C- 26号単価表
舗装版破砕	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:必要	m <sup>2</sup>	955			施工P-02
	舗装版厚:15cm以下					
殻運搬	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(小規模土工) DID区間の有無:有り	m <sup>3</sup>	47			施工P-03
	運搬距離:6.5km以下					
廃材処理料(北部地区)	A S 殻	m <sup>3</sup>	47			
表層(車道・路肩部)	平均幅員:3.0m超 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:密粒度アスコ(20)	m <sup>2</sup>	955			施工P-04
	瀝青材料種類:プライムコート PK-3					
不陸整正	補足材料の有無:有り 補足材料平均厚さ:29mm以上34mm未満	m <sup>2</sup>	955			施工P-05
計						

B- 12号明細書(施工P-01)  
 舗装版切断

積算単位:m

標準単価:

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			15.42			
K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式/切削深20cm級 フレート径 φ56cm	供/日	10.49			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			57.13			
R 1	特殊作業員	人	19.60			
R 2	土木一般世話役	人	10.55			
R 3	普通作業員	人	8.73			
R 4						
R 5						
材料 Z			27.45			
Z 1	コンクリートカッタ(フレート)/径18インチ	枚	23.29			
Z 2	ガソリン/レギュラー, スタンド渡し	ℓ	2.83			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{10.49}{100} \times \frac{15.42}{10.49} \right) \times \frac{15.42}{10.49} \right. \\
 & + \left( \frac{19.60}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{10.55}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{8.73}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} \right) \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} \\
 & + \left( \frac{23.29}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} + \frac{2.83}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} \right) \times \frac{27.45}{23.29+2.83} \\
 & \left. + \frac{100-15.42-57.13-27.45}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 12号明細書(施工P-02)  
舗装版破碎

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

舗装版種別:アスファルト舗装版、障害等の有無:無し、騒音振動対策:必要、舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			31.76			
K 1	バックホ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) / 開口幅735~850mm 破碎力550~980kN	供/日	21.93			
K 2	バックホ(クローラ、後超小旋回・超低騒音)賃料 / 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	日	9.83			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			62.64			
R 1	運転手(特殊)	人	28.07			
R 2	普通作業員	人	24.15			
R 3	土木一般世話役	人	10.42			
R 4						
R 5						
材料 Z			5.60			
Z 1	軽油 / ハトロール給油	ℓ	5.60			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{21.93}{100} \times \frac{31.76}{21.93+9.83} + \frac{9.83}{100} \times \frac{31.76}{21.93+9.83} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{28.07}{100} \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} + \frac{24.15}{100} \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} + \frac{10.42}{100} \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} \right) \\
 & + \left( \frac{5.60}{100} \times \frac{5.60}{5.60} \right) \\
 & \left. + \frac{100-31.76-62.64-5.60}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 12号明細書(施工P-03)  
 殻運搬

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

殻発生作業: 舗装版破碎、積込工法区分: 機械積込(小規模土工)、DID区間の有無: 有り、運搬距離: 6.5km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			18.57			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル/2t積級+良好: タイヤ損耗費及び補修費	供/日	18.57			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			72.35			
R 1	運転手(一般)	人	72.35			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			9.08			
Z 1	軽油/パトロール給油	ℓ	9.08			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{18.57}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{18.57}{18.57} \text{-----} \right. \\
 & + \left( \frac{72.35}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{72.35}{72.35} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{9.08}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{9.08}{9.08} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-18.57-72.35-9.08}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 12号明細書(施工P-04)  
 表層(車道・路肩部)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
 入力数量: 50mm

平均幅員: 3.0m超、1層当り平均仕上り厚: 実数入力、材料: 密粒度アスコン(20)、瀝青材料種類: プライムコート PK-3

	名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.35			
K 1	アスファルトフィニッシャ賃料/ホイール型、舗装幅2.3~6.0m	日	0.87			
K 2	タイヤローラ(普通型)賃料/質量 8~20 t (排出ガス対策型含む)	日	0.13			
K 3	ロートローラ(マカダム)賃料/質量 10~12 t (排出ガス対策型含む)	日	0.13			
K 4						
K 5						
労務 R			9.47			
R 1	普通作業員	人	3.39			
R 2	運転手(特殊)	人	1.94			
R 3	特殊作業員	人	1.89			
R 4	土木一般世話役	人	0.67			
R 5						
材料 Z			89.18			
Z 1	再生アスファルト混合物/再生密粒度アスコン(13)	t	81.56			
Z 2	アスファルト乳剤/PK-3 プライムコート用	ℓ	7.06			
Z 3	軽油/ハトロール給油	ℓ	0.47			
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.87}{100} \times \frac{1.35}{0.87+0.13+0.13} + \frac{0.13}{100} \times \frac{1.35}{0.87+0.13+0.13} + \frac{0.13}{100} \times \frac{1.35}{0.87+0.13+0.13} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{3.39}{100} \times \frac{9.47}{3.39+1.94+1.89+0.67} + \frac{1.94}{100} \times \frac{9.47}{3.39+1.94+1.89+0.67} + \frac{1.89}{100} \times \frac{9.47}{3.39+1.94+1.89+0.67} + \frac{0.67}{100} \times \frac{9.47}{3.39+1.94+1.89+0.67} \right) \\
 & + \left( \frac{81.56}{100} \times \frac{89.18}{81.56+7.06+0.47} + \frac{7.06}{100} \times \frac{89.18}{81.56+7.06+0.47} + \frac{0.47}{100} \times \frac{89.18}{81.56+7.06+0.47} \right) \\
 & \left. + \frac{100-1.35-9.47-89.18}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

B- 12号明細書(施工P-05)

不陸整正

補足材料の有無:有り、補足材料平均厚さ:29mm以上34mm未満

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			16.68			
K 1	モータグレーダ 土工用 排対型(2次基準) / フレート幅3.1m	供/日	8.14			
K 2	ロータリー マカダム 排対型(2次基準) / 運転質量10t 締固め幅2.1m	供/日	6.45			
K 3	タイヤロー(普通型) 賃料 / 質量 8~20 t (排出ガス対策型含む)	日	2.09			
K 4						
K 5						
労務R			49.70			
R 1	運転手(特殊)	人	31.83			
R 2	特殊作業員	人	9.28			
R 3	普通作業員	人	6.92			
R 4	土木一般世話役	人	1.67			
R 5						
材料Z			33.62			
Z 1	再生粒度調整砕石 / RM-40	m <sup>3</sup>	27.83			
Z 2	軽油 / バトル給油	ℓ	5.79			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{8.14}{100} \times \frac{16.68}{8.14+6.45+2.09} + \frac{6.45}{100} \times \frac{16.68}{8.14+6.45+2.09} + \frac{2.09}{100} \times \frac{16.68}{8.14+6.45+2.09} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{31.83}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} + \frac{9.28}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} + \frac{6.92}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} + \frac{1.67}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} \right) \\
 & + \left( \frac{27.83}{100} \times \frac{33.62}{27.83+5.79} + \frac{5.79}{100} \times \frac{33.62}{27.83+5.79} \right) \\
 & \left. + \frac{100-16.68-49.70-33.62}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



















C- 9号 1箇所当たり 単価表

組立1号マンホール  
人孔深 1.76m

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
組立マンホール設置工	1号(内径900mm) 3m以下 施工規模 4箇所未満	箇所	1			D- 15号単価表
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-14	組	1			
受枠変形防止材(3セット1組)		組	1			
無収縮モルタル	25kg	袋	7			
調整リング	600×100	個	1			
組立式マンホール(1号)	斜壁 600×900×450	個	1			
組立式マンホール(1号)	躯体ブロック 900×1200	個	1			
組立式マンホール(1号)	底版 有効高130	個	1			
底部工(組立式)	組立1号マンホール	箇所	1			D- 16号単価表
可とう継ぎ手(貼り付けタイプ)	塩ビ管用 φ200	個	2			
削孔費 1号マンホール 1種 5m以下	塩ビ管 φ200	箇所				
計						







C- 13号 1箇所当たり 単価表

組立0号マンホール  
人孔深 1.80m

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
組立マンホール設置工	0号(内径750mm)、楕円 2m以下 施工規模4箇所未満	箇所	1			D- 19号単価表
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-14	組	1			
受枠変形防止材(3セット1組)		組	1			
調整リング	600×150	個	1			
組立式マンホール(0号)	斜壁 600×750×450	個	1			
組立式マンホール(0号)	躯体ブロック 750×1200	個	1			
組立式マンホール(0号)	底版 有効高 130	個	1			
底部工(組立式)	組立0号マンホール	箇所	1			D- 20号単価表
可とう継ぎ手(貼り付けタイプ)	塩ビ管用 φ200	個	1			
計						

C- 14号 1箇所当たり 単価表

組立0号マンホール  
人孔深 1.60m

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
組立マンホール設置工	0号(内径750mm)、楕円 2m以下 施工規模4箇所未満	箇所	1			D- 19号単価表
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-14	組	1			
受枠変形防止材(3セット1組)		組	1			
調整リング	600×100	個	1			
組立式マンホール(0号)	斜壁 600×750×600	個	1			
組立式マンホール(0号)	躯体ブロック 750×900	個	1			
組立式マンホール(0号)	底版 有効高 130	個	1			
底部工(組立式)	組立0号マンホール	箇所	1			D- 20号単価表
可とう継ぎ手(貼り付けタイプ)	塩ビ管用 φ200	個	1			
計						

C- 15号 1箇所当たり 単価表

組立0号マンホール  
人孔深 1.74m

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
組立マンホール設置工	0号(内径750mm)、楕円 2m以下 施工規模4箇所未満	箇所	1			D- 19号単価表
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-14	組	1			
受枠変形防止材(3セット1組)		組	1			
調整リング	600×100	個	1			
組立式マンホール(0号)	斜壁 600×750×450	個	1			
組立式マンホール(0号)	躯体ブロック 750×1200	個	1			
組立式マンホール(0号)	底版 有効高 130	個	1			
底部工(組立式)	組立0号マンホール	箇所	1			D- 20号単価表
可とう継ぎ手(貼り付けタイプ)	塩ビ管用 φ200	個	1			
計						



































C- 33号

1 t 当たり

単価表

仮設材の運搬費 (鋼矢板・H形鋼・覆工板・敷鉄板等)

(A) 長12m以内, 距離10kmまで、往復

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設材運搬費(A)		t	1			
計						





D- 2号単価表(施工P-01)  
タンパ締固め

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.24			
K 1	タンパ 及びランマ賃料 / 質量 60~80kg	日	1.24			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			97.05			
R 1	特殊作業員	人	51.22			
R 2	普通作業員	人	45.83			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			1.71			
Z 1	ガソリン / レギュラー, スタンド渡し	ℓ	1.71			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{1.24}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{1.24}{1.24} \text{-----} \right. \\
 & + \left( \frac{51.22}{100} \times \text{-----} + \frac{45.83}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{97.05}{51.22+45.83} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{1.71}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{1.71}{1.71} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-1.24-97.05-1.71}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



D- 3号単価表(施工P-01)  
タンパ締固め

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.24			
K 1	タンパ 及びランマ賃料 / 質量 60~80kg	日	1.24			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			97.05			
R 1	特殊作業員	人	51.22			
R 2	普通作業員	人	45.83			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			1.71			
Z 1	ガソリン / レギュラー, スタンド渡し	ℓ	1.71			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{1.24}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{1.24}{1.24} \text{-----} \right. \\
 & + \left( \frac{51.22}{100} \times \text{-----} + \frac{45.83}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{97.05}{51.22+45.83} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{1.71}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{1.71}{1.71} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-1.24-97.05-1.71}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



























D- 16号単価表(施工P-01)  
 コンクリート

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

構造物種別: 小型構造物、打設工法: 人力打設、コンクリート規格: 24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類: 一般養生、現場内小運搬の有無: 無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			42.01			
R 1	普通作業員	人	22.75			
R 2	土木一般世話役	人	9.31			
R 3	特殊作業員	人	7.89			
R 4						
R 5						
材料 Z			57.99			
Z 1	生コンクリート(高炉セメント) / 18-8-25(20), W/C指定無し	m <sup>3</sup>	57.99			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

× {

$$+ \left( \frac{22.75}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{9.31}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{7.89}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} \right)$$

$$+ \left( \frac{57.99}{100} \times \frac{57.99}{57.99} \right)$$

$$+ \left. \frac{100-42.01-57.99}{100} \right\} =$$



D- 17号単価表(施工P-01)  
 コンクリート

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

構造物種別: 小型構造物、打設工法: 人力打設、コンクリート規格: 24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類: 一般養生、現場内小運搬の有無: 無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K					
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務	R		42.01			
	R 1 普通作業員	人	22.75			
	R 2 土木一般世話役	人	9.31			
	R 3 特殊作業員	人	7.89			
	R 4					
	R 5					
材料	Z		57.99			
	Z 1 生コンクリート(高炉セメント) / 18-8-25(20), W/C指定無し	m <sup>3</sup>	57.99			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場	S					

P' =

× {

$$+ \left( \frac{22.75}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{9.31}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{7.89}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} \right) \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89}$$

$$+ \left( \frac{57.99}{100} \times \frac{57.99}{57.99} \right) \times \frac{57.99}{57.99}$$

$$+ \frac{100-42.01-57.99}{100} \} =$$

D- 17号単価表(施工P-02)  
 殻運搬

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

殻発生作業:コンクリート(無筋)構造物とりこわし、積込工法区分:機械積込、DID区間の有無:有り、運搬距離:5.7km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			41.69			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル/10t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費	供/日	41.69			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			43.88			
R 1	運転手(一般)	人	43.88			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			14.43			
Z 1	軽油/パトロール給油	ℓ	14.43			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{41.69}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{41.69}{41.69} \text{-----} \right. \\
 & + \left( \frac{43.88}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{43.88}{43.88} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{14.43}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{14.43}{14.43} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-41.69-43.88-14.43}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$







D- 20号単価表(施工P-01)  
 コンクリート

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

構造物種別: 小型構造物、打設工法: 人力打設、コンクリート規格: 24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類: 一般養生、現場内小運搬の有無: 無し

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K						
K 1						
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			42.01			
R 1	普通作業員	人	22.75			
R 2	土木一般世話役	人	9.31			
R 3	特殊作業員	人	7.89			
R 4						
R 5						
材料 Z			57.99			
Z 1	生コンクリート(高炉セメント) / 18-8-25(20), W/C指定無し	m <sup>3</sup>	57.99			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

× {

$$+ \left( \frac{22.75}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{9.31}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} + \frac{7.89}{100} \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89} \right) \times \frac{42.01}{22.75+9.31+7.89}$$

$$+ \left( \frac{57.99}{100} \times \frac{57.99}{57.99} \right) \times \frac{57.99}{57.99}$$

$$+ \frac{100-42.01-57.99}{100} \} =$$





D- 22号単価表(施工P-01)  
タンパ締固め

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.24			
K 1	タンパ 及びランマ賃料 / 質量 60~80kg	日	1.24			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			97.05			
R 1	特殊作業員	人	51.22			
R 2	普通作業員	人	45.83			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			1.71			
Z 1	ガソリン / レギュラー, スタンド渡し	ℓ	1.71			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{1.24}{100} \times \frac{1.24}{1.24} \right) \times \frac{1.24}{1.24} \right. \\
 & + \left( \frac{51.22}{100} \times \frac{51.22}{51.22+45.83} + \frac{45.83}{100} \times \frac{45.83}{51.22+45.83} \right) \times \frac{97.05}{51.22+45.83} \\
 & + \left( \frac{1.71}{100} \times \frac{1.71}{1.71} \right) \times \frac{1.71}{1.71} \\
 & \left. + \frac{100-1.24-97.05-1.71}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



D- 23号単価表(施工P-01)  
タンパ締固め

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.24			
K 1	タンパ 及びランマ賃料 / 質量 60~80kg	日	1.24			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			97.05			
R 1	特殊作業員	人	51.22			
R 2	普通作業員	人	45.83			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			1.71			
Z 1	ガソリン / レギュラー, スタンド渡し	ℓ	1.71			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{1.24}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{1.24}{1.24} \text{-----} \right. \\
 & + \left( \frac{51.22}{100} \times \text{-----} + \frac{45.83}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{97.05}{51.22+45.83} \text{-----} \\
 & + \left( \frac{1.71}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{1.71}{1.71} \text{-----} \\
 & \left. + \frac{100-1.24-97.05-1.71}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

























F- 2号 1hr当たり 運転費

バックホウ運転費

山積0.28m<sup>3</sup>(平0.20)、排ガス対策型(2次基準)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手(特殊)		人				
軽油	パトロール給油	ℓ	5.9			
バックホウ(クローラ型)標準型 排対型(2次基準)	山積0.28m <sup>3</sup> (平積0.2m <sup>3</sup> )	hr				
計						















公共下水道40分区枝線工事		材料費(30)			材料調書全体明細表		
(単位:円)							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	
埋設標識シート	幅400 2倍	巻	6.16				
セメント(高炉B)	25kg袋入	t	0.065				
生コンクリート(高炉セメント)	18-8-25(20), W/C指定無し	m <sup>3</sup>	1.014				
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	m <sup>3</sup>	0.086				
再生粒度調整砕石	RM-40	m <sup>3</sup>	84.62				
再生クラッシャーラン	RC-40	m <sup>3</sup>	465.293				
再生砂	RC-10	m <sup>3</sup>	223.2				
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ <sup>®</sup> 15~18 白	kg	19.246				
トラフィックペイント 溶融型	3種1号 ビーズ <sup>®</sup> 15~18 黄鉛・フリー	kg	2.052				
ガラスビーズ <sup>®</sup>	0.106~0.850mm	kg	0.935				
接着用プライマー	区画線用	kg	0.935				
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン(13)	t	120.294				
再生アスファルト混合物 (小型車)	再生粗粒度アスコン(20)	t	31.369				

公共下水道40分区枝線工事		材料費(30)				材料調書全体明細表	
						(単位:円)	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考	
組立式マンホール(0号)	斜壁 600×750×450	個	2				
組立式マンホール(0号)	斜壁 600×750×600	個	1				
組立式マンホール(0号)	躯体フロック 750×900	個	1				
組立式マンホール(0号)	躯体フロック 750×1200	個	2				
組立式マンホール(0号)	底版 有効高 130	個	3				
組立式マンホール(1号)	斜壁 600×900×450	個	1				
組立式マンホール(1号)	斜壁 600×900×600	個	2				
組立式マンホール(1号)	躯体フロック 900×1200	個	3				
組立式マンホール(1号)	底版 有効高130	個	3				
調整リング	600×100	個	6				
調整リング	600×150	個	1				
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-14	組	6				
無収縮モルタル	25kg	袋	7				





令和7年度 公共下水道40分区枝線工事

# 数量計算書

海老名市まちづくり部下水道課

## 数量総括表

上段：変更

下段：当初

工種	種別	細別	規格	数量		摘要
管きょ工	管路土工	管路掘削	土砂	507	m <sup>3</sup>	
		管路埋戻	RC-10	150	m <sup>3</sup>	
		管路埋戻	RC-40	314	m <sup>3</sup>	
		発生土処理・運搬		507	m <sup>3</sup>	
	管布設工	硬質塩化ビニル管埋設標識シート含む	φ200	308	m	
	管基礎工	砂基礎	RC-10	30	m <sup>3</sup>	
	開削水替工			1	式	
	管路土留工	アルミ土矢板建込・引抜	掘削深2.0m以下	199	m	アルミ矢板 矢板長2.5m : L=314.0m
		アルミ土矢板建込・引抜	掘削深2.5m以下	115	m	
		土留支保	1段 掘削深2.0m以下	199	m	
土留支保		2段 掘削深3.5m以下	115	m		
マンホール工	組立1号マンホール工人孔深 1.76m	組立マンホール設置工 9155-1-2		1	箇所	
		海老名市型人孔鉄蓋	T-14	1	組	
		受枠変形防止材		1	組	
		無収縮モルタル	25kg 5kg/cm	7	袋	他含む (80kg+85kg)/25kg
		調整リング	H=100	1	個	
		斜壁	H=450	1	個	
		躯体ブロック	H=1200	1	個	
		底板	PB	1	個	
		底部工		1	箇所	
		可とう継ぎ手		2	個	
		削孔費		1	箇所	

## 数量総括表

上段：変更

下段：当初

工種	種別	細別	規格	数量		摘要
	組立1号マンホール工 人孔深 1.99m	組立マンホール設置工 9155-1-3		1	箇所	
		海老名市型人孔鉄蓋	T-14	1	組	
		受枠変形防止材		1	組	
		調整リング	H=100	2	個	
		斜壁	H=600	1	個	
		躯体ブロック	H=1200	1	個	
		底板	PB	1	個	
		底部工		1	箇所	
		可とう継ぎ手		2	個	
		削孔費		1	箇所	
	組立1号マンホール工 人孔深 1.88m	組立マンホール設置工 9156-2		1	箇所	
		海老名市型人孔鉄蓋	T-14	1	組	
		受枠変形防止材		1	組	
		調整リング	H=100	1	個	
		斜壁	H=600	1	個	
		躯体ブロック	H=1200	1	個	
		底板	PB	1	個	
		底部工		1	箇所	
		可とう継ぎ手		2	個	
		削孔費		1	箇所	
	組立1号マンホール工 既存	底部工		1	箇所	
		可とう継ぎ手		3	個	
		削孔費		3	箇所	

## 数量総括表

上段：変更

下段：当初

工種	種別	細別	規格	数量	箇所	摘要
	組立0号マンホール工 人孔深 1.80m	組立マンホール設置工 9155-1-1		1	箇所	
		海老名市型人孔鉄蓋	T-14	1	組	
		受枠変形防止材		1	組	
		調整リング	H=150	1	個	
		斜壁	H=450	1	個	
		躯体ブロック	H=1200	1	個	
		底板	PB	1	個	
		底部工		1	箇所	
		可とう継ぎ手		1	個	
	組立0号マンホール工 人孔深 1.80m	組立マンホール設置工 9156-1		1	箇所	
		海老名市型人孔鉄蓋	T-14	1	組	
		受枠変形防止材		1	組	
		調整リング	H=100	1	個	
		斜壁	H=600	1	個	
		躯体ブロック	H=900	1	個	
		底板	PB	1	個	
		底部工		1	箇所	
		可とう継ぎ手		1	個	
	組立0号マンホール工 人孔深 1.74m	組立マンホール設置工 9155-2-1		1	箇所	
		海老名市型人孔鉄蓋	T-14	1	組	
		受枠変形防止材		1	組	
		調整リング	H=100	1	個	
		斜壁	H=450	1	個	
		躯体ブロック	H=1200	1	個	
		底板	PB	1	個	
		底部工		1	箇所	
		可とう継ぎ手		1	個	

## 数量総括表

上段：変更

下段：当初

工種	種別	細別	規格	数量		摘要
取付管およびます工	管路土工	管路掘削	土砂	12	m <sup>3</sup>	
		管路埋戻	RC-10	6	m <sup>3</sup>	
		管路埋戻	RC-40	4	m <sup>3</sup>	
		発生土処理・運搬		12	m <sup>3</sup>	
	ます設置工	ます(塩化ビニル管)	φ200	10	箇所	
	取付管布設工	取付管	管長3~5m未満 φ150	4	箇所	
		取付管	管長3m未満 φ150	6	箇所	
		可とう継ぎ手	φ150	4	個	
		削孔費	1号, φ150	1	箇所	
		削孔費	0号, φ150	3	箇所	
		可とう支管	φ150	6	箇所	
	管路土留工	アルミ土矢板建込・引抜	掘削深2.0m以下	5	m	アルミ矢板 矢板長2.0m : L=5.4m
		土留支保	1段 掘削深2.0m以下	5	m	
	付帯工	仮復旧工	舗装版切断工	As t≤15cm	657	m
舗装版切断濁水処理工				1	式	0.023×0.05×657 =0.756m <sup>3</sup>
舗装版破碎			As t≤15cm	324	m <sup>2</sup>	
運搬・処分				16	m <sup>3</sup>	
管路掘削			路盤材	98	m <sup>3</sup>	
路盤材処理・運搬				98	m <sup>3</sup>	
表層			再生粗粒度AS t=4cm	17	m <sup>2</sup>	4号
上層路盤			RM-40 t=16cm	17	m <sup>2</sup>	4号
下層路盤			RC-40 t=20cm	17	m <sup>2</sup>	4号
表層			再生粗粒度AS t=4cm	307	m <sup>2</sup>	3号
上層路盤			RM-40 t=11cm	307	m <sup>2</sup>	3号
下層路盤	RC-40 t=20cm	307	m <sup>2</sup>	3号		

## 数量総括表

上段：変更

下段：当初

工種	種別	細別	規格	数量		摘要	
	本復旧工	舗装版切断工	As t≤15cm	20	m		
		舗装版切断濁水処理工		1	式	0.023×0.05×20 =0.023m <sup>3</sup>	
		舗装版破碎	As t≤15cm	955	m <sup>2</sup>		
		運搬・処分		47	m <sup>3</sup>		
		表層	再生密粒度AS t=5cm	955	m <sup>2</sup>		
		上層路盤	補足材料有り RM-40 t=3cm	955	m <sup>2</sup>		
		区画線工	熔融式区画線	実線, 白, 幅15cm	1	m	
				ゼブラ, 白, 幅30cm	2	m	
				矢印・記号・文字 白, 幅15cm換算	24	m	所要換算長
			矢印・記号・文字 黄, 幅15cm換算	3	m	所要換算長	
仮設工	交通誘導員			1	現場		

管布設工数量集計表

内径φ200VU管

当初

路線延長	全 体	314.00 m	掘削工	バックホウ	山積0.28m <sup>3</sup>	507.42 m <sup>3</sup>
	φ 200 VU	314.00 m		バックホウ	山積0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
	φ	m		残 土 量		507.42 m <sup>3</sup>
管体延長	全 体	308.84 m	埋戻工	RC-10 (ハックホウ)	全体	150.41 m <sup>3</sup>
	φ 200 VU	308.84 m		RC-40 (ハックホウ)	全体	314.00 m <sup>3</sup>
	φ					m <sup>3</sup>
基礎工	砂 基 礎	全体 30.80 m <sup>3</sup>	山留工 (アルミ矢板)	L = 2.00 m		m
	基礎延長	全体 307.95 m		L = 2.50 m (全 面)		314.00 m
				L = 3.00 m		m
		L = 3.50 m			m	
				L = 4.00 m		m
管 材	硬質塩化ビニル管 φ 200 VU	82 本	支保工 (金属)	1 段		199.00 m
	リブバンドφ200 変換継手φ200	5° 本 10° 本 22° 1/2 本 VU受口リブ差口 個 リブ受口VU差口 個		2 段		115.00 m
	マンホール用可とう継手上流用	6 個		3 段		m
	マンホール用可とう継手下流用	6 個				
	副管用マンホール継手 L=1.0m	本				

管布設・土工数量計算表

管径 φ 200 VU

当初

人孔番号 路線番号	スパン 延長 L	人孔 減長	管体 延長	基礎 減長	基礎 延長 L'	掘削深		掘削幅 W	舗装構成	掘削土量(舗装厚分は控除)		埋戻し土量			残土量
						上流 下流	平均 H			ハックホ		RC-40	RC-10	砂基礎	
										0.28m <sup>3</sup>	0.45m <sup>3</sup>	ハックホ	ハックホ		
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
9155-1-1 ~ 9155-1-2 9155-1	69.00	0.83	68.18	0.150	68.03	1.90 1.85	1.88	1.00	3号復旧	105.57		63.07	33.05	6.80	105.57
9155-1-2 ~ 9155-1-3 9155-1	49.00	0.90	48.10	0.150	47.95	1.87 2.08	1.98	1.00	3号復旧	79.87		49.69	23.47	4.80	79.87
9155-1-3 ~ 9157-1 9155-1	85.00	0.90	84.10	0.150	83.95	2.10 2.12	2.11	1.00	3号復旧	149.60		97.24	40.72	8.40	149.60
9156-1 ~ 9156-2 9156	63.00	0.83	62.18	0.150	62.03	1.71 1.97	1.84	1.00	3号復旧	93.87		55.06	30.18	6.20	93.87
9156-2 ~ 9157-1 9156	30.00	0.90	29.10	0.150	28.95	1.99 2.15	2.07	1.00	3号復旧	51.60		33.12	14.37	2.90	51.60
9155-2-1 ~ 9155-2	16.30	0.38	15.93	0.075	15.86	1.85 1.92	1.89	1.00	4号復旧	24.29		14.25	7.81	1.59	24.29
9157-1 9155-2	1.70	0.45	1.25	0.075	1.18	1.85 1.92	1.89	1.00	3号復旧	2.62		1.57	0.81	0.12	2.62
小計	314.00		308.84		307.95					507.42		314.00	150.41	30.80	507.42

土工数量計算書

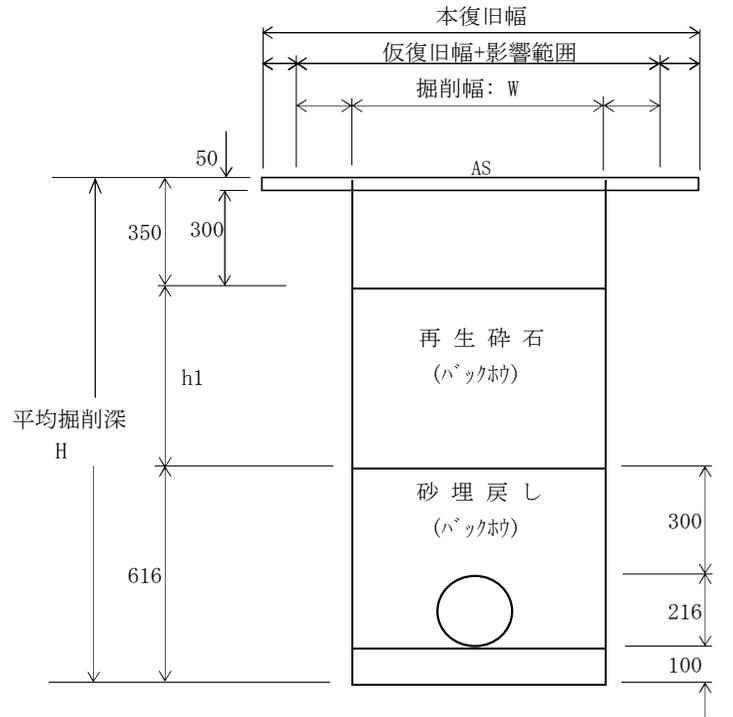
φ200VU 3号復旧(簡易)

As舗装

当初

詳細図

数量計算



VU φ 200  
 管控除分  $0.216^2 \times \pi / 4 = 0.037 \text{ m}^2$

延長 : L

平均掘削深 : H

① 掘削土量 :  $W \times (H - 0.350) \times L$

② RC-40埋戻し (ハック材+タコ)

:  $W \times \{H - (0.350 + 0.616)\} \times L$

③ RC-10埋戻し (ハック材+タコ)

(  $W \times 0.516 - 0.037$  )  $\times L$

基礎延長 : L'

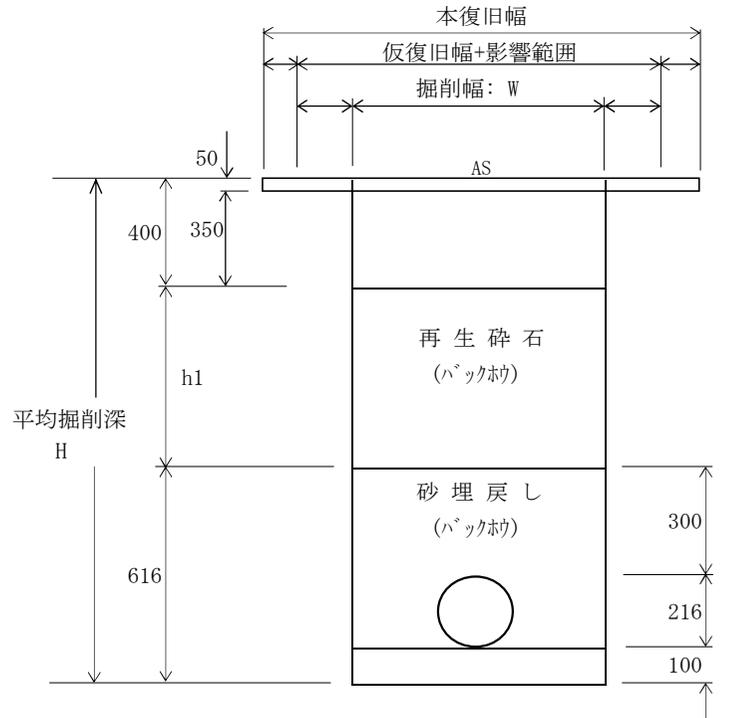
④ 砂基礎 : (  $W \times 0.100$  )  $\times L'$

土工数量計算書

φ200VU 4号復旧 (L交通)

As舗装

詳細図 数量計算



VU φ200  
 管控除分  $0.216^2 \times \pi / 4 = 0.037 \text{ m}^2$

延長 : L

平均掘削深 : H

① 掘削土量 :  $W \times (H - 0.400) \times L$

② RC-40埋戻し (ハック材+タコ)

:  $W \times \{H - (0.400 + 0.616)\} \times L$

③ RC-10埋戻し (ハック材+タコ)

(  $W \times 0.516 - 0.037$  )  $\times L$

基礎延長 : L'

④ 砂基礎 : (  $W \times 0.100$  )  $\times L'$

VU φ200mm

管 渠 数 量 計 算 書

当初

路線 番号	人孔 番号	管 径  (mm)	人孔間 延長  (m)	人孔に よる 減長  (m)	管渠 延長  (m)	管 数 量											備 考						
						ゴム輪受口片受け直管			マンホール用 可とう継手 (上流)	マンホール用 可とう継手 (下流)	副管用 マンホール継手	VU直管 控除長	リブ管部材 布設延長 (軸中心)	リブ管部材 砂基礎	リブバンド φ200			変換継手 φ200(個)					
						控除(m)	L=4.0m 延長(m)	本	個	個	L=1.0m 本	(m)	(m)	(m3)	5° 本	10° 本		22° 1/2 本	VU 受口 差口	リブ 受口 差口			
9155-1	9155-1-1	200	69.00	0.83	68.18		68.18	18	1	1													
	9155-1-2																						
9155-1	9155-1-2	200	49.00	0.90	48.10		48.10	13	1	1													
	9155-1-3																						
9155-1	9155-1-3	200	85.00	0.90	84.10		84.10	22	1	1													
	9157-1																						
9156	9156-1	200	63.00	0.83	62.18		62.18	16	1	1													
	9156-2																						
9156	9156-2	200	30.00	0.90	29.10		29.10	8	1	1													
	9157-1																						
9155-2	9155-2-1	200	16.30	0.38	15.93		15.93	4	1														
9155-2	9157-1	200	1.70	0.45	1.25		1.25	1		1													
合 計								82	6	6													

山留工数量計算書

(φ 200 VU )

当初

路線 番号	人孔番号 No ~ No	スパン 延長 (m)	平均 掘削深 (m)	掘削深					掘削深 (支保工段数)		
				2.0m以下 (m)	2.5m以下 (m)	3.0m以下 (m)	3.5m以下 (m)	3.8m以下 (m)	1段 2.0m以下 (m)	2段 3.5m以下 (m)	3段 3.8m以下 (m)
				9155-1	9155-1-1 ~ 9155-1-2	69.00	1.88	69.00			
9155-1	9155-1-2 ~ 9155-1-3	49.00	1.98	49.00					49.00		
9155-1	9155-1-3 ~ 9157-1	85.00	2.11		85.00					85.00	
9156	9156-1 ~ 9156-2	63.00	1.84	63.00					63.00		
9156	9156-2 ~ 9157-1	30.00	2.07		30.00					30.00	
9155-2	9155-2-1 ~	16.30	1.89	16.30					16.30		
9155-2	~ 9157-1	1.70	1.89	1.70					1.70		
	~										
	~										
	~										
	~										
	~										
	~										
	~										
合計		314.00		199.00	115.00				199.00	115.00	

山留工数量計算書

(φ 200 VU )

当初

路線 番号	人孔番号 No ~ No	スパン 延長 (m)	平均 掘削深 (m)	矢板長					支保工段数			
				(アルミ) 2.00	(アルミ) 2.50	(アルミ) 3.00	(アルミ) 3.50	(アルミ) 4.00	(アルミ) 1段	(アルミ) 2段	(アルミ) 3段	
				(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
9155-1	9155-1-1 ~ 9155-1-2	69.00	1.88		69.00					69.00		
9155-1	9155-1-2 ~ 9155-1-3	49.00	1.98		49.00					49.00		
9155-1	9155-1-3 ~ 9157-1	85.00	2.11		85.00						85.00	
9156	9156-1 ~ 9156-2	63.00	1.84		63.00					63.00		
9156	9156-2 ~ 9157-1	30.00	2.07		30.00						30.00	
9155-2	9155-2-1 ~	16.30	1.89		16.30					16.30		
9155-2	~ 9157-1	1.70	1.89		1.70					1.70		
	~											
	~											
	~											
	~											
	~											
	~											
	~											
	~											
合計		314.00			314.00					199.00	115.00	

# アルミ矢板賃料計算書

※矢板長で計算

(本管) 矢板長 <span style="float: right;">L = 2.50 m</span>	当初
総縮切延長 <span style="float: right;">L = 314.00 m</span>	
1 回当たり縮切延長 <span style="float: right;">L = 6.00 m</span>	
現場搬入出を含めた供用日数	
総縮切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数	
$314.00 \text{ m} \times 29 \text{ 日} / 100\text{m} + 2 \text{ 日} = 93.0 \text{ 日}$	
1 回当たりの使用総重量	
$0.0126 \text{ t/枚} \times \text{同一材料 1 回使用枚数}$	
$0.0126 \text{ t/枚} \times 6.00 \text{ m} / 0.333 \text{ m/枚} \times 2 \text{ 側}$	
$= 0.453 \text{ t}$	
1 現場における転用回数	
総縮切延長÷1 回当たりの縮切延長	
$314.00 \text{ m} \div 6.00 \text{ m} = 52.3 \text{ 回}$	
賃料日数	
$6.00 \text{ m} \div 0.333 \text{ m} \times 2 \text{ 枚} \times 93.0 \text{ 日} = 3352 \text{ 枚} \cdot \text{日}$	

軽量金属支保材賃料計算書

		1 段梁の換算値			
1 段支保延長 L =	199.00 m	1 回当り縮切延長 L =	6.00 m	1 回縮切延長 × 1 6.00 m × 1 = 6.00 m	最大支保使用段数及び延長
2 段支保延長 L =	115.00 m	1 回当り縮切延長 L =	6.00 m	1 回縮切延長 × 2 6.00 m × 2 = 12.00 m	N = 2 段
3 段支保延長 L =	m	1 回当り縮切延長 L =	m	1 回縮切延長 × 3 m × 3 = m	L = 6.00 m

1 現場当たりの最大使用本数の計算（基本料）

アルミ腹起し	(t=110mm, L=4.00m)	最大支保延長 6.00 m ÷ 4.00	× 2	× 2 段	=	6.0 本
水圧サポート	(W=0.80~1.40m)	最大支保延長 6.00 m ÷ 4.00	× 2	× 2 段	=	6.0 本
水圧手動ポンプ	(タンク容量15 t)				=	1.0 台

※ 基本料については、各支保段数のうち、1 現場での 1 回縮切り最大のものを計上する。

土留材賃貸料金・重量計算書（アルミ矢板2.5m）（本管）

矢板長	L = 2.50 m			
総締切延長	L = 12.0 m	(= 6.0 m × 2.0 面	=	12 m)
アルミ矢板使用枚数	N ≒ 36.0 枚	(= 12.0 ÷ 0.333	=	36.0)
供用日数	N = 93.0 日			
1 現場当たりの使用総重量 (t)				
矢板1枚当たりの重量(t) (L=2.5m) × 矢板使用枚数(枚)				
	0.0126	×	36.0	= 0.454 t
① アルミ矢板賃貸料 (円)				
矢板1枚当たりの賃貸料(円 × 矢板使用枚数(枚 × 供用日数				
		×	36.0	×
			×	93.0 = _____ 円
※建設物価・積算資料の平均価格				
② アルミ矢板基本料 (円)				
矢板1枚当たりの基本料(円 × 矢板使用枚数(枚)				
		×	36.0	= _____ 円
※建設物価・積算資料の平均価格				
③ アルミ矢板整備費 (円)				
矢板1枚当たりの基本料(円 × 矢板使用枚数(枚)				
		×	36.0	= _____ 円
※建設物価・積算資料の平均価格				
④ 合計 (円)				
アルミ矢板賃貸料 (円) + アルミ矢板基本料 (円) + アルミ矢板整備費 (円)				
	+		+	= _____ 円

# 軽量金属支保材賃料計算式（本管）

当初

供用日数： 1段 199.00 m × 29 / 100 + 日 = 58.0      供用日数合計： 93.0 日  
           2段 115.00 m × 29 / 100 + 2日 = 35.0  
           3段            m × 29 / 100 + 2日 =

1. アルミ腹起こし材質料（円）      （賃料 \* 供用日数 + 整備料） × 1回1段当たり使用本数（本） × 使用段数

設置段数：  
 賃貸価格：                   （円）  
 整備料                       （円）  
 使用本数： 1回当たり使用本数（本）

1	段	2	段	段
	円		円	円
	円		円	円
3	本	3	本	本
58.0	日	35.0	日	日
	円		円	円

合計： \_\_\_\_\_ - 円

2. 水圧パイプホルダー賃料（円）      （賃料 \* 供用日数 + 整備料） × 1回1段当たり使用本数（本） × 使用段数

設置段数：  
 賃貸価格：                   （円）  
 整備料                       （円）  
 使用本数： 1回当たり使用本数（本）

1	段	2	段	段
	円		円	円
	円		円	円
3	本	3	本	本
58.0	日	35.0	日	日
	円		円	円

合計： \_\_\_\_\_ - 円

3. 水圧手動ポンプ賃料（円）      （賃料 \* 供用日数） + 整備料

供用合計日数： 93.0                   （日）  
 賃貸価格：                   （円）  
 整備料                       （円）

円
円
円

合計： \_\_\_\_\_ - 円

当初

1号組立マンホール設置工

箇所数		3箇所	直壁ブロック	H= 1500 mm	個	
ブロック据付	~ 3 m	3箇所	躯体ブロック	H= 1800 mm	個	
	3 ~ 4 m	箇所		H= 600 mm	個	
	4 ~ 5 m	箇所		H= 900 mm	個	
人孔鉄蓋	海老名市型 標準鉄蓋	T-14		3組	H= 1200 mm	3個
		T-25		組	H= 1500 mm	個
	海老名市型 転落防止梯子付	T-14		組	H= 1800 mm	個
		T-25	組			
調整無収縮 モルタル	5kg/cm	80 kg				
調整リング	H= 50 mm	個	底版	H= 130 mm	3個	
	H= 100 mm	4個		流入管削孔	φ 150 VU	箇所
	H= 150 mm	個			φ 200 VU (2号人孔)	箇所
斜壁ブロック	H= 300 mm	個	φ 200 VU (1号人孔)		3箇所	
	H= 450 mm	1個	φ 200 VP	箇所		
	H= 600 mm	2個	人孔底部工	標準 流出φ200	4箇所	
直壁ブロック	H= 300 mm	個		モルタル上塗り 1箇所当り	0.739 m <sup>2</sup>	
	H= 600 mm	個		コンクリート(18-8-25 (20) BB)	0.158 m <sup>3</sup>	
	H= 900 mm	個		基礎碎石(RC-40 t=20cm)	0.950 m <sup>2</sup>	
	H= 1200 mm	個	インパ <sup>ハ</sup> トCo撤去(既設)	0.010 m <sup>3</sup>		

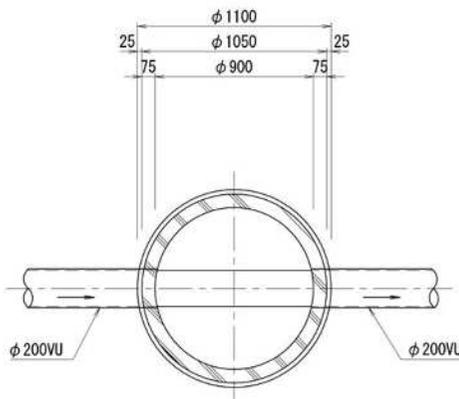
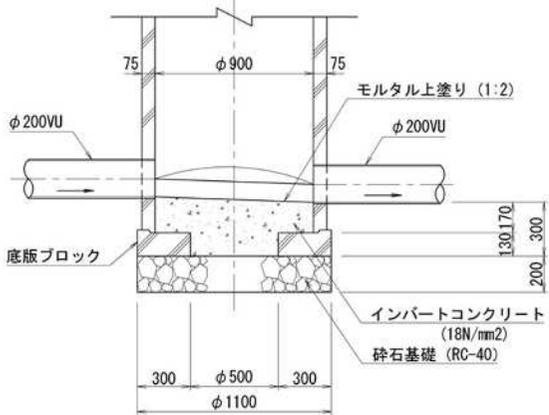
# 1号組立マンホール材料表

当初

路線 番号	マンホール 番号	マンホール 深さ m	底版 個	躯体ブロック					直壁ブロック					斜壁ブロック			調整リング			調整 高 mm	人孔蓋		削孔			底部工 箇所	継手 副管			
				60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	45 個	60 個	50 個	100 個		150 個	T14 組	T25 組	150 箇所	200 箇所		300 箇所	個	H	
9155-1	9155-1-2	1.760	1			1										1			1		70	1			1		1		2	
9155-1	9155-1-3	1.990	1			1											1		2		50	1			1		1		2	
9156	9156-2	1.880	1			1											1		1		40	1			1		1		2	
既No. 9157-1																									3		1		3	
計			3			3										1	2		4		160	3			6		4		9	

1号組立マンホール底部工数量計算書(本管径φ200)

(1箇所当り)

略 図	種 目	形状寸法	計 算 式	数 量
	砕石基礎工 (既設1号MHは除く)	RC-40 t=20cm	$\pi/4 \times 1.100^2 = 0.950$	0.950 m <sup>2</sup> /箇所
	インハートコンクリート工	18N/mm <sup>2</sup>	$\begin{aligned} & \pi/4 \times 0.900^2 \times (0.170 + 0.200/2 + ) \\ & - \pi/4 \times 0.200^2 \times 0.900 \times 1/2 \\ & + \pi/4 \times \phantom{0.900}^2 \times \phantom{0.900} \end{aligned}$	0.158 m <sup>3</sup> /箇所
	モルタル上塗り工 配合 1:2 厚さ 2cm		$\begin{aligned} & \pi/4 \times 0.900^2 + \pi \times 0.200 \times 1/2 \times 0.900 \\ & - 0.200 \times 0.900 \end{aligned}$	0.739 m <sup>2</sup> /箇所
	インハートコンクリート撤去 (既設1号MH)		$0.2^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.350 = 0.010$	0.010 m <sup>3</sup> /箇所

0号組立マンホール設置工					当初	
箇所数		3箇所	直壁ブロック	H= 1500 mm	個	
ブロック据付	~ 3 m	3箇所	躯体ブロック	H= 1800 mm	個	
	3 ~ 4 m	箇所		H= 600 mm	個	
	4 ~ 5 m	箇所		H= 900 mm	1 個	
人孔鉄蓋	海老名市型 標準鉄蓋	T-14		3 組	H= 1200 mm	2 個
		T-25		組	H= 1500 mm	個
	海老名市型 転落防止梯子付	T-14		組		
		T-25	組			
	調整無収縮 モルタル	5kg/cm	85 kg			
調整リング	H= 50 mm		底版	H= 130 mm	3 個	
	H= 100 mm	2 個				
	H= 150 mm	1 個				
斜壁ブロック	H= 300 mm	個	流入管削孔	φ 150 VU	箇所	
	H= 450 mm	2 個				
	H= 600 mm	1 個				
直壁ブロック	H= 300 mm	個	人孔底部工	標準 流出φ200 モルタル上塗り 1箇所当り コンクリート(18-8-25 (20) BB) 基礎碎石(RC-40 t=20cm)	3 箇所 0.527 m <sup>2</sup> 0.108 m <sup>3</sup> 0.709 m <sup>2</sup>	
	H= 600 mm	個				
	H= 900 mm	個				
	H= 1200 mm	個				
				標準 流出φ300 モルタル上塗り 1箇所当り コンクリート(18-8-25 (20) BB) 基礎碎石(RC-40 t=20cm)	箇所 m <sup>2</sup> m <sup>3</sup> m <sup>2</sup>	

深さ+0.17=ブロック+蓋受枠0.11+モルタル調整

0号組立マンホール材料表

当初

路線 番号	マンホール 番号	マンホール 深さ m	底版 個	躯体ブロック					直壁ブロック					斜壁ブロック			調整リング			調整 高 mm	人孔蓋		削孔			底部工 箇所	継手 副管			
				60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	45 個	60 個	50 個	100 個		150 個	T14 組	T25 組	150 箇所	200 箇所		300 箇所	個	H	
9155-1	9155-1-1	1.800	1			1										1				1	60	1					1	1		
9156	9156-1	1.600	1		1												1			1	60	1					1	1		
9155-2	9155-2-1	1.740	1			1										1				1	50	1					1	1		
計			3		1	2										2	1			2	1	170	3					3	3	

0号組立マンホール底部工数量計算書(本管径φ200)

(1箇所当り)

略 図	種 目	形状寸法	計 算 式	数 量
	<p>砕石基礎工</p> <p>インハートコンクリート工</p> <p>モルタル上塗り工</p>	<p>RC-40 t=20cm</p> <p>18N/mm<sup>2</sup></p> <p>配合 1:2 厚さ 2cm</p>	$\pi/4 \times 0.950^2 = 0.709$ $\pi/4 \times 0.750^2 \times (0.170 + 0.200/2 + )$ $- \pi/4 \times 0.200^2 \times 0.750 \times 1/2$ $+ \pi/4 \times \quad^2 \times = 0.108$ $\pi/4 \times 0.750^2 + \pi \times 0.200 \times 1/2 \times 0.750$ $- 0.200 \times 0.750 = 0.527$	<p>0.709 m<sup>2</sup>/箇所</p> <p>0.108 m<sup>3</sup>/箇所</p> <p>0.527 m<sup>2</sup>/箇所</p>

公共下水道汚水柵設置工事 汚水柵設置及び取付管工数量集計表												
取付管布設工	取付管長	39.2	m	塩ビ管	ゴム輪受口片受管 φ150*4000	32.1	m	÷	4	=	8.0	本
	内径 150 mm	32.1	m		プレーンエンド直管 φ200*4000	7.1	m	÷	4	=	1.8	本
	内径 200 mm		m		プレーンエンド直管 φ250*4000		m	÷	4	=		本
			m	掘削	機械掘削 ハックル	0.10	12.93					m3
汚水柵	塩ビ柵	10	箇所		人力掘削							m3
	塩ビ柵(ドロップ)		箇所	埋戻	砂(RC-10ハックル)	0.10	6.08					m3
	防護蓋 200用		箇所		再生砕石(RC-40)	0.10	4.50					m3
			箇所		仮復旧時(RM-40)	0.10						m3
		箇所	発生土		0.10						m3	
硬質塩化ビニール管	可とう継手 φ150	4	個	発生土処分	As塊		0.54					m3
	可とう支管 塩ビ管 φ150*90	6	個		路盤	0.10	3.28					m3
	可とう支管 ヒューム管 φ150*90		個		土砂		12.93					m3
	曲管 φ150*90	4	個	取壊し	As塊	0.10	10.69					m2
	曲管 φ150*45,60	6	個	舗装切断			29.60					m3
	曲管 φ150*15		個	捨場	AS	0.05	0.54					m3
					路盤	0.10	3.28					m3
			土砂		0.10	12.93					m3	
塩ビ柵種類	塩ビ柵(H≤0.90m)	4	箇所	仮復旧(本管・取付管部舗装分)			10.69					m2
	塩ビ柵(0.91m≤H≤1.00m)	1	箇所	不陸整正(基面整正)								m2
	塩ビ柵(1.01m≤H≤1.20m)	1	箇所	下層路盤(RC-40)	t=20	9.43					m2	
	塩ビ柵(1.21m≤H≤1.40m)		箇所	上層路盤(RM-40)	t=11	9.43					m2	
	塩ビ柵(1.41m≤H≤1.50m)		箇所	下層路盤(RC-40)	t=20	1.26					m2	
	塩ビ柵(1.51m≤H≤1.60m)		箇所	上層路盤(RM-40)	t=16	1.26					m2	
	塩ビ柵(ドロップ柵)	4	箇所	As舗装(再生)	歩道		10.69					m2
					プライム							m2
					タック							m2
			基層								m2	
				安定処理							m2	

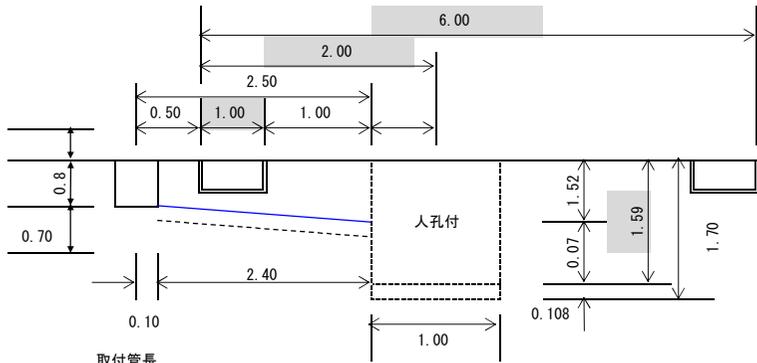
汚水樹設置及び取付管工数量集計表

路線名	破碎 As 盤 m2	掘削			埋戻し						発生土		カッター t= 20 cm 以下 取付管長 m	舗装											
		機械 m3	人力 m3	RC10 m3	管周り (RC10) m3	RC40 m3	路床 (RC40) m3	RM40 m3	発生土 m3	As 塊 m3	路盤 m3	アスコン							路盤工						
												仮復旧 m2		表層(歩道) t= 4 cm m2	表層プライム m2	表層タック m2	基層 m2	安定処理 m2	不陸整 正 (基面 修正) m2	RC-40 t= 20 cm 3号 m2	RM-40 t= 11 cm 3号 m2	RC-40 t= 20 cm 4号 m2	RM-40 t= 16 cm 4号 m2		
No. 3	0.80	1.78			0.58		0.96		1.78	0.04	0.24	2.00	2.57	0.80	0.80							0.80	0.80		
No. 4	0.40	1.43			0.46		0.76		1.43	0.02	0.12	1.00	2.53	0.40	0.40							0.40	0.40		
No. 5	0.40	1.43			0.46		0.76		1.43	0.02	0.12	1.00	2.58	0.40	0.40							0.40	0.40		
No. 6	1.65	1.10			0.82				1.10	0.08	0.50	5.00	4.47	1.65	1.65							1.65	1.65		
No. 7	2.72	3.17			1.04		1.74		3.17	0.14	0.82	6.80	4.51	2.72	2.72							2.72	2.72		
No. 8	1.90	1.20			0.89		0.01		1.20	0.10	0.57	5.60	4.57	1.90	1.90							1.90	1.90		
No. 9	0.43	0.70			0.36		0.18		0.70	0.02	0.13	1.20	2.23	0.43	0.43							0.43	0.43		
No. 10	0.40	0.50			0.35				0.50	0.02	0.12	1.20	2.47	0.40	0.40							0.40	0.40		
No. 11	0.73	0.65			0.47				0.65	0.04	0.22	2.20	2.85	0.73	0.73							0.73	0.73		
No. 12	1.26	0.97			0.65		0.09		0.97	0.06	0.44	3.60	3.34	1.26	1.26									1.26	1.26
小計	10.69	12.93			6.08		4.50		12.93	0.54	3.28	29.60	32.11	10.69	10.69							9.43	9.43	1.26	1.26
合計	10.69	12.93			6.08		4.50		12.93	0.54	3.28	29.60	32.11	10.69	10.69							9.43	9.43	1.26	1.26

汚水柵設置及び取付管工数量集計表

路線番号	家名	形状及び深さ										可とう継手	可とう支管	曲管		片受け直管		立上り直管		削孔		備考
		塩ビ柵						ドロップ		φ150				φ150		φ150	φ200	φ300	φ200	φ150		
		0.80	0.90	1.00	1.10	1.20	1.50	1.60	0.70	0.80	ヒューム管	塩ビ管	90	60 45	φ150					φ200	φ300	
No. 3									1		1		1		2.57			0.65		1	人孔付	
No. 4									1			1	1		2.53			0.65				
No. 5									1			1	1		2.58			0.65				
No. 6												1	1	4.47			0.65					
No. 7									1		1		1	4.51			0.65		1	人孔付		
No. 8			1									1	1	4.57			0.75					
No. 9					1							1	1	2.23			0.95					
No. 10												1	1	2.47			0.65					
No. 11											1		1	2.85			0.65	1		人孔付		
No. 12				1							1		1	3.34			0.85		1	人孔付		
小計		7	1	1	1				4		4	6	4	6	32.11		7.10	1	3			
合計		10								4	4	6	4	6	32.11		7.10	1	3			

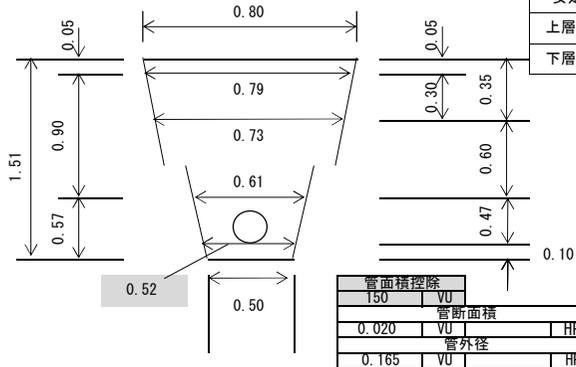
汚水柵設置及び取付管工数量 集計表	No. 3	3	号	塩ビ柵	深さ	0.80	m	申請者	
----------------------	-------	---	---	-----	----	------	---	-----	--



取付管長  
L = 2.57 m  
取付管勾配  
0.01

本管	200	VU
本管外径	0.215	HP

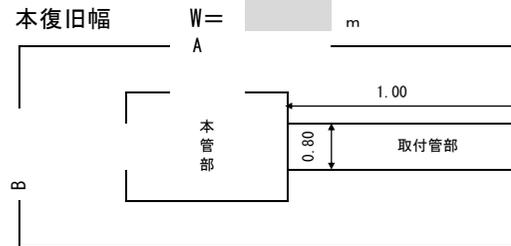
表層	0.05
基層	
安定処理	
上層路盤厚	0.10
下層路盤厚	0.20



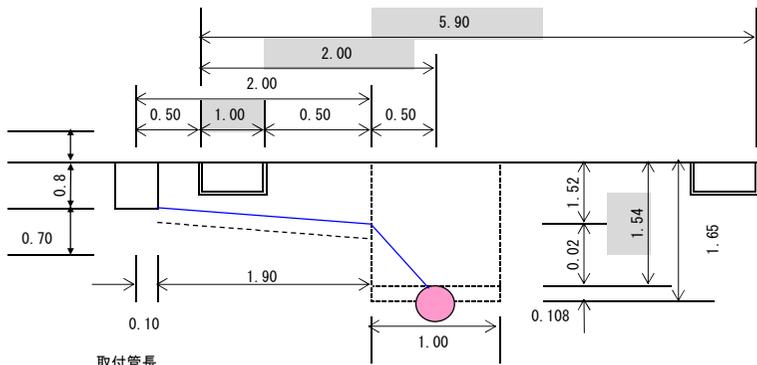
管面積控除	VU
150	管断面積
0.020	VU
	管外径
0.165	VU
	HP

舗装版切断		1.00 * 2	= 2.00	2.00	m
舗装版破碎	本復旧分			0.80	m2
	本管・取付部	1.00 * 0.80 +	= 0.80		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分			0.04	m3
	本管・取付部	0.80 * 0.05	= 0.04		
掘削	(本管部)			1.78	m3
	(取付部)	( 0.73 + 0.50 ) / 2 * 1.16 * 2.50	= 1.78		
上下層路盤殻	本管・取付部	0.80 * 0.30	= 0.24	0.24	m3
埋戻し	(本管部)	RC-10	=		
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り)	(( 0.61 + 0.52 ) / 2 * 0.47 - 0.02 ) * 2.40	= 0.58	0.58 m3
	RC-40 路床	( 0.73 + 0.61 ) / 2 * 0.60 * 2.40	= 0.96	0.96 m3	
舗装	仮舗装	(本管部)		0.80	m2
		(取付部)	0.80 * 1.00	= 0.80	
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
A  
D  
仮復旧まで「C」→  
本復旧まで「D」→  
隣接工事との  
復旧面重複



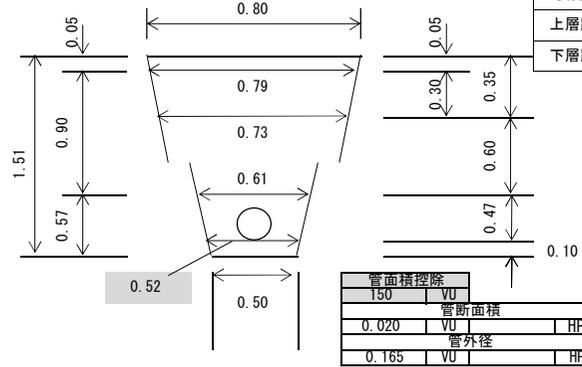
汚水柵設置及び取付管工数量集計表	No. 4	3	号	塩ビ柵	深さ	0.80	m	申請者	
------------------	-------	---	---	-----	----	------	---	-----	--



取付管長  
L = 2.53 m  
取付管勾配  
0.01

本管	200	VU
本管外径	0.215	HP

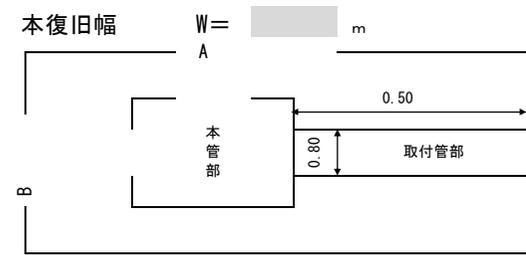
表層	0.05
基層	
安定処理	
上層路盤厚	0.10
下層路盤厚	0.20



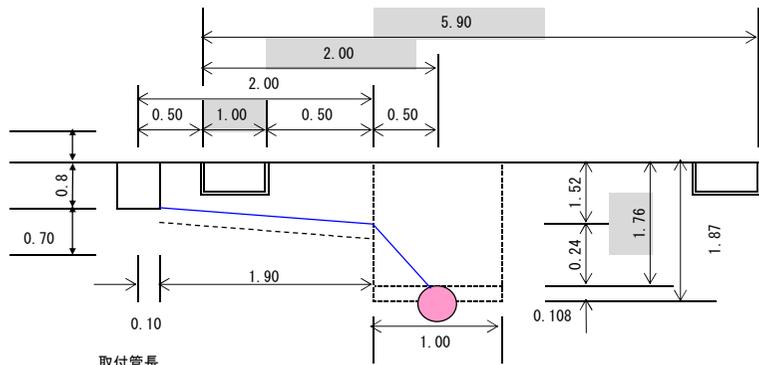
管面積控除	VU
150	管断面積
0.020	VU
	管外径
0.165	VU

舗装版切断		0.50 * 2	= 1.00	1.00	m
舗装版破碎	本復旧分			0.40	m2
	本管・取付部	0.50 * 0.80 +	= 0.40		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分			0.02	m3
	本管・取付部	0.40 * 0.05	= 0.02		
掘削	(本管部)			1.43	m3
	(取付部)	( 0.73 + 0.50 ) / 2 * 1.16 * 2.00	= 1.43		
上下層路盤殻	本管・取付部	0.40 * 0.30	= 0.12	0.12	m3
埋戻し	(本管部)	RC-10	=		
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り)	(( 0.61 + 0.52 ) / 2 * 0.47 - 0.02 ) * 1.90	= 0.46	0.46 m3
		RC-40 路床	( 0.73 + 0.61 ) / 2 * 0.60 * 1.90	= 0.76	0.76 m3
舗装	仮舗装	(本管部)		0.40	m2
		(取付部)	0.80 * 0.50	= 0.40	
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
仮復旧まで「C」→  
本復旧まで「D」→  
隣接工事との  
復旧面重複



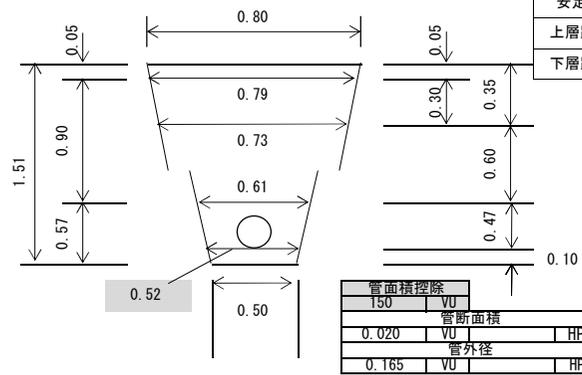
汚水柵設置及び取付管工数量集計表	No. 5	3	号	塩ビ柵	深さ	0.80	m	申請者	
------------------	-------	---	---	-----	----	------	---	-----	--



取付管長  
L = 2.58 m  
取付管勾配  
0.01

本管	200	VU
本管外径	0.215	HP

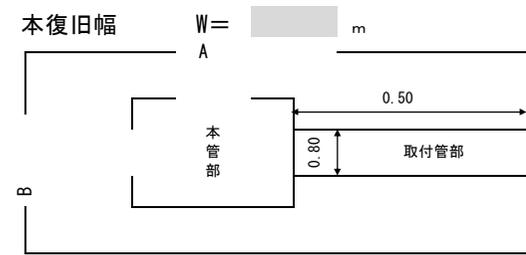
表層	0.05
基層	
安定処理	
上層路盤厚	0.10
下層路盤厚	0.20



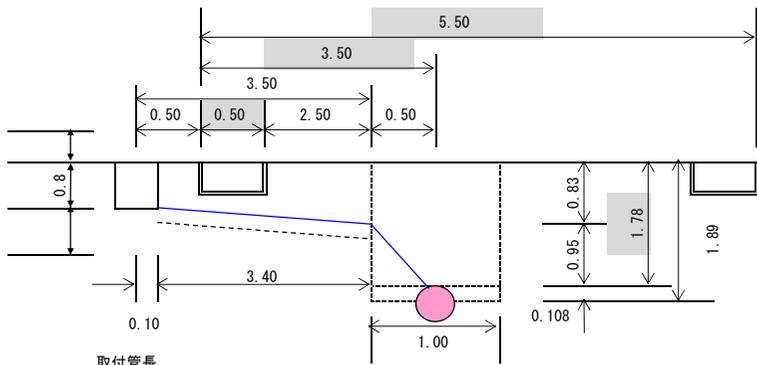
管面積控除		VU
150		管断面積
0.020		HP
		管外径
0.165		HP

舗装版切断		0.50 * 2	= 1.00	1.00	m
舗装版破碎	本復旧分			0.40	m2
	本管・取付部	0.50 * 0.80	= 0.40		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分			0.02	m3
	本管・取付部	0.40 * 0.05	= 0.02		
掘削	(本管部)			1.43	m3
	(取付部)	$(0.73 + 0.50) / 2 * 1.16 * 2.00$	= 1.43		
上下層路盤殻	本管・取付部	0.40 * 0.30	= 0.12	0.12	m3
埋戻し	(本管部)	RC-10	=		
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り)	$((0.61 + 0.52) / 2 * 0.47 - 0.02) * 1.90$	= 0.46	0.46 m3
		RC-40 路床	$(0.73 + 0.61) / 2 * 0.60 * 1.90$	= 0.76	0.76 m3
舗装	仮舗装	(本管部)		0.40	m2
		(取付部)	0.80 * 0.50	= 0.40	
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
仮復旧まで「C」→  
本復旧まで「D」→  
隣接工事との  
復旧面重複



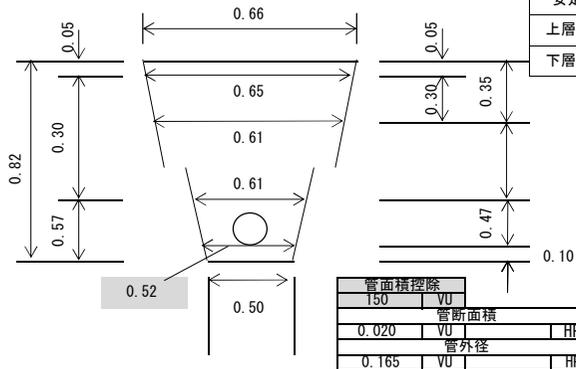
汚水柵設置及び取付管工数量 集計表	No. 6	3	号	塩ビ柵	深さ	0.80	m	申請者	
----------------------	-------	---	---	-----	----	------	---	-----	--



取付管長  
L = 4.47 m  
取付管勾配  
0.01

本管	200	VU
本管外径	0.215	HP

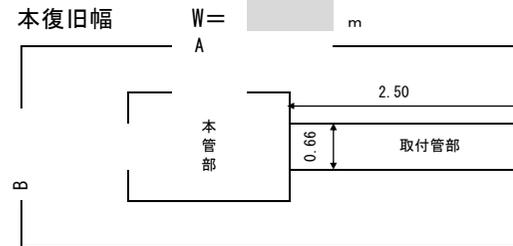
表層	0.05
基層	
安定処理	
上層路盤厚	0.10
下層路盤厚	0.20



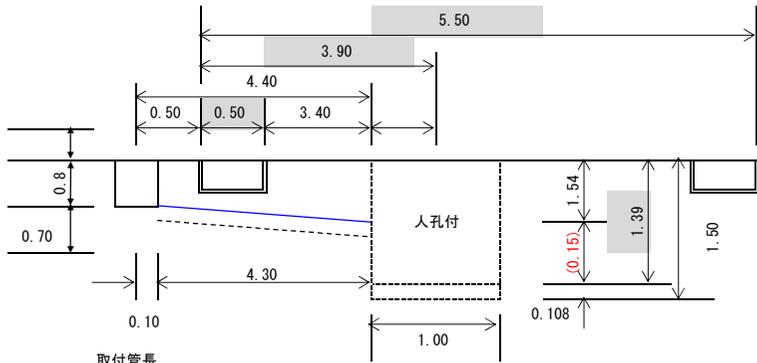
管面積控除	VU
150	管断面積
0.020	VU
	管外径
0.165	VU
	HP

舗装版切断	2.50 * 2	= 5.00	5.00	m	
舗装版破碎	本復旧分		1.65	m2	
	本管・取付部	2.50 * 0.66 +	= 1.65		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分		0.08	m3	
	本管・取付部	1.65 * 0.05	= 0.08		
掘削	(本管部)		1.10	m3	
	(取付部)	( 0.61 + 0.50 ) / 2 * 0.57 * 3.50	= 1.10		
上下層路盤殻	本管・取付部	1.65 * 0.30	= 0.50	m3	
埋戻し	(本管部)	RC-10			
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り) RC-40 路床	(( 0.61 + 0.52 ) / 2 * 0.47 - 0.02 ) * 3.40	= 0.83	m3
舗装	仮舗装	(本管部)		1.65	m2
		(取付部)	0.66 * 2.50	= 1.65	
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
仮復旧まで「C」→  
本復旧まで「D」→  
隣接工事との  
復旧面重複



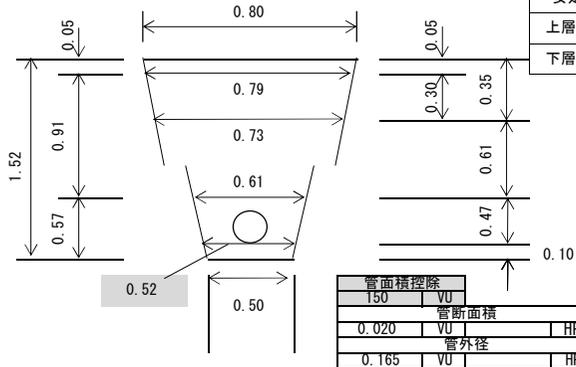
汚水柵設置及び取付管工数量集計表	No. 7	3	号	塩ビ柵	深さ	0.80	m	申請者	
------------------	-------	---	---	-----	----	------	---	-----	--



取付管長  
L = 4.51 m  
取付管勾配  
0.01

本管	200	VU
本管外径	0.215	HP

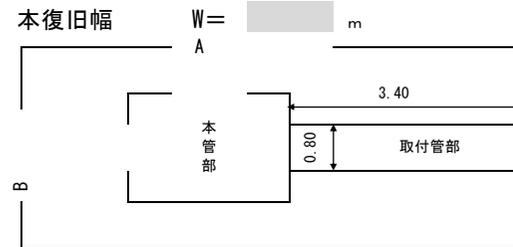
表層	0.05
基層	
安定処理	
上層路盤厚	0.10
下層路盤厚	0.20



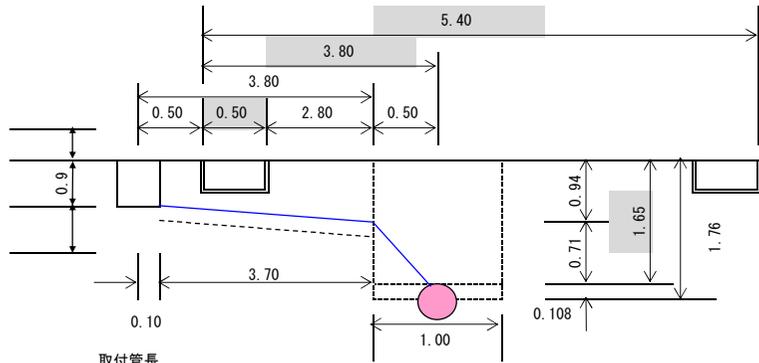
管面積控除	VU
150	管断面積
0.020	VU
	管外径
0.165	VU
	HP

舗装版切断		3.40 * 2	= 6.80	6.80	m
舗装版破碎	本復旧分			2.72	m2
	本管・取付部	3.40 * 0.80 +	= 2.72		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分			0.14	m3
	本管・取付部	2.72 * 0.05	= 0.14		
掘削	(本管部)			3.17	m3
	(取付部)	( 0.73 + 0.50 ) / 2 * 1.17 * 4.40	= 3.17		
上下層路盤殻	本管・取付部	2.72 * 0.30	= 0.82	0.82	m3
埋戻し	(本管部)	RC-10			
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り)	(( 0.61 + 0.52 ) / 2 * 0.47 - 0.02 ) * 4.30	= 1.04	1.04 m3
		RC-40 路床	( 0.73 + 0.61 ) / 2 * 0.61 * 4.30	= 1.74	1.74 m3
舗装	仮舗装	(本管部)		2.72	m2
		(取付部)	0.80 * 3.40	= 2.72	
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
仮復旧まで「C」→  
本復旧まで「D」→  
隣接工事との  
復旧面重複



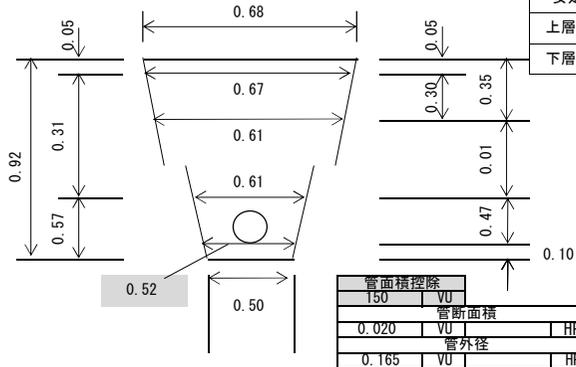
汚水柵設置及び取付管工数量集計表	No. 8	3	号	塩ビ柵	深さ	0.90	m	申請者	
------------------	-------	---	---	-----	----	------	---	-----	--



取付管長  
L = 4.57 m  
取付管勾配  
0.01

本管	200	VU
本管外径	0.215	HP

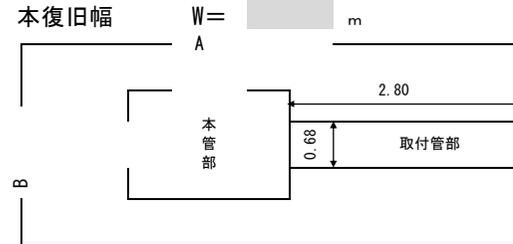
表層	0.05
基層	
安定処理	
上層路盤厚	0.10
下層路盤厚	0.20



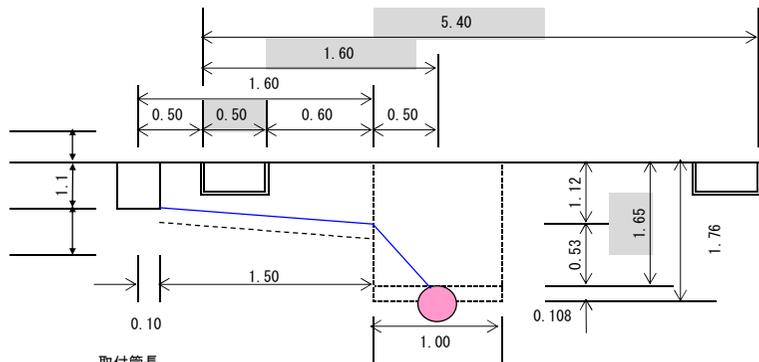
管面積控除	VU
150	管断面積
0.020	VU
	管外径
0.165	VU
	HP

舗装版切断		2.80 * 2	= 5.60	5.60	m
舗装版破碎	本復旧分			1.90	m2
	本管・取付部	2.80 * 0.68 +	= 1.90		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分			0.10	m3
	本管・取付部	1.90 * 0.05	= 0.10		
掘削	(本管部)			1.20	m3
	(取付部)	( 0.61 + 0.50 ) / 2 * 0.57 * 3.80	= 1.20		
上下層路盤殻	本管・取付部	1.90 * 0.30	= 0.57	0.57	m3
埋戻し	(本管部)	RC-10			
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り)	(( 0.61 + 0.52 ) / 2 * 0.47 - 0.02 ) * 3.70	= 0.90	0.89 m3
		RC-40 路床	( 0.61 + 0.61 ) / 2 * 0.01 * 3.70	= 0.01	0.01 m3
舗装	仮舗装	(本管部)		1.90	m2
		(取付部)	0.68 * 2.80	= 1.90	
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
仮復旧まで「C」→  
本復旧まで「D」→  
隣接工事との  
復旧面重複



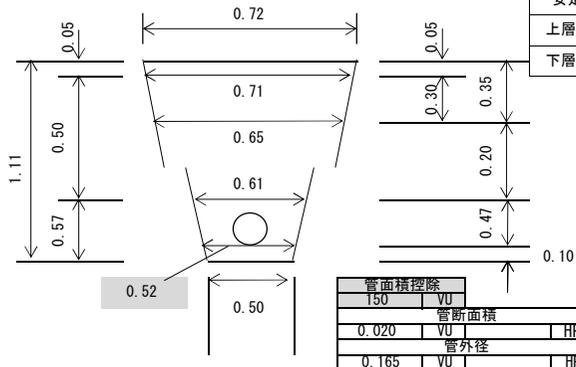
汚水柵設置及び取付管工数量 集計表	No. 9	3	号	塩ビ柵	深さ	1.10	m	申請者	
----------------------	-------	---	---	-----	----	------	---	-----	--



取付管長  
L = 2.23 m  
取付管勾配  
0.01

本管	200	VU
本管外径	0.215	HP

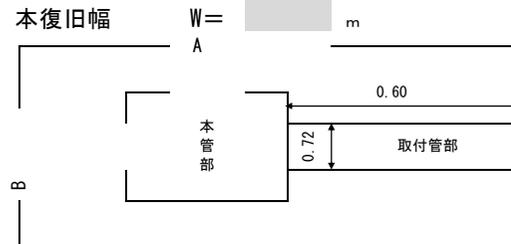
表層	0.05
基層	
安定処理	
上層路盤厚	0.10
下層路盤厚	0.20



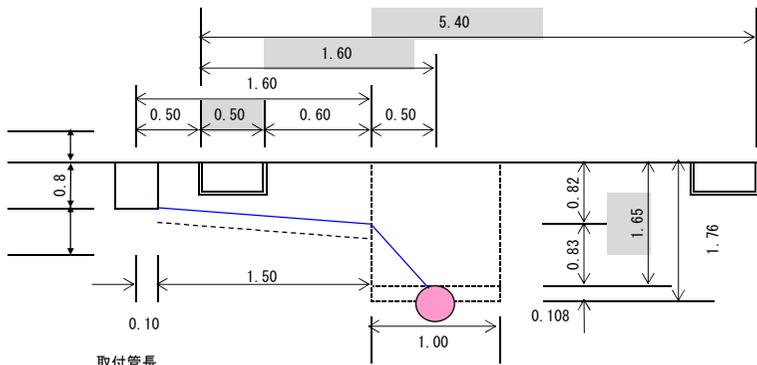
管面積控除	VU
150	管断面積
0.020	VU
	管外径
0.165	VU
	HP

舗装版切断		0.60 * 2	= 1.20	1.20	m
舗装版破碎	本復旧分			0.43	m2
	本管・取付部	0.60 * 0.72 +	= 0.43		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分			0.02	m3
	本管・取付部	0.43 * 0.05	= 0.02		
掘削	(本管部)			0.70	m3
	(取付部)	( 0.65 + 0.50 ) / 2 * 0.76 * 1.60	= 0.70		
上下層路盤殻	本管・取付部	0.43 * 0.30	= 0.13	0.13	m3
埋戻し	(本管部)	RC-10	=		
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り)	(( 0.61 + 0.52 ) / 2 * 0.47 - 0.02 ) * 1.50	= 0.36	0.36 m3
	RC-40 路床	( 0.65 + 0.61 ) / 2 * 0.20 * 1.50	= 0.18	0.18 m3	
舗装	仮舗装	(本管部)		0.43	m2
		(取付部)	0.72 * 0.60	= 0.43	
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
A  
D  
仮復旧まで「C」  
本復旧まで「D」  
隣接工事との  
復旧面重複



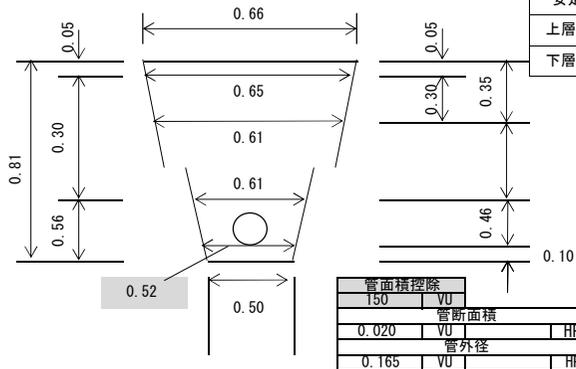
汚水柵設置及び取付管工数量 集計表	No. 10	3	号	塩ビ柵	深さ	0.80	m	申請者	
----------------------	--------	---	---	-----	----	------	---	-----	--



取付管長  
L = 2.47 m  
取付管勾配  
0.01

本管	200	VU
本管外径	0.215	HP

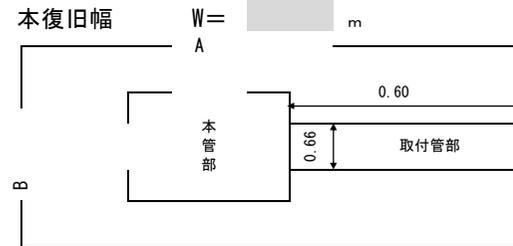
表層	0.05
基層	
安定処理	
上層路盤厚	0.10
下層路盤厚	0.20



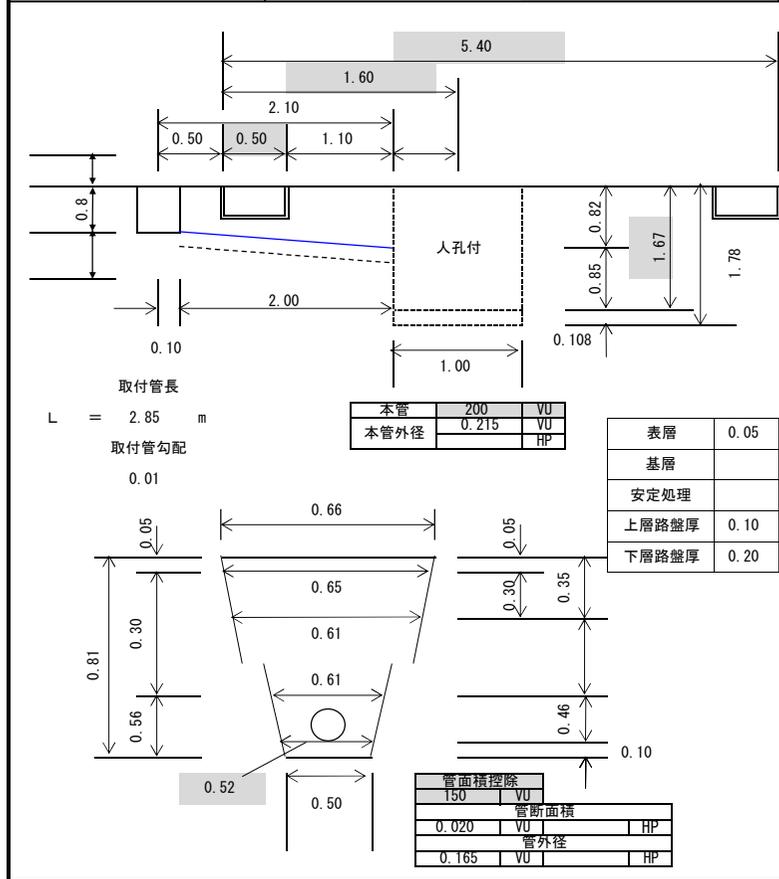
管面積控除	VU
150	管断面積
0.020	VU
	管外径
0.165	VU
	HP

舗装版切断		0.60 * 2	= 1.20	1.20	m
舗装版破碎	本復旧分			0.40	m2
	本管・取付部	0.60 * 0.66 +	= 0.40		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分			0.02	m3
	本管・取付部	0.40 * 0.05	= 0.02		
掘削	(本管部)			0.50	m3
	(取付部)	( 0.61 + 0.50 ) / 2 * 0.56 * 1.60	= 0.50		
上下層路盤殻	本管・取付部	0.40 * 0.30	= 0.12	0.12	m3
埋戻し	(本管部)	RC-10	=		
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り) RC-40 路床	(( 0.61 + 0.52 ) / 2 * 0.46 - 0.02 ) * 1.50 * 1.50	= 0.36	0.35 m3
舗装	仮舗装	(本管部)		0.40	m2
		(取付部)	0.66 * 0.60	= 0.40	
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
仮復旧まで「C」→  
本復旧まで「D」→  
隣接工事との  
復旧面重複

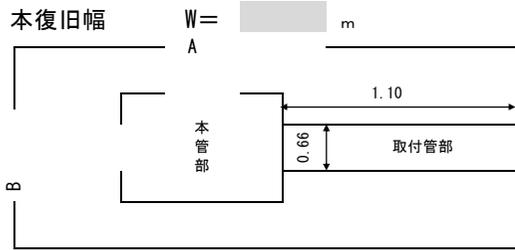


汚水柵設置及び取付管工数量 集計表	No. 11	3	号	塩ビ柵	深さ	0.80	m	申請者	
----------------------	--------	---	---	-----	----	------	---	-----	--

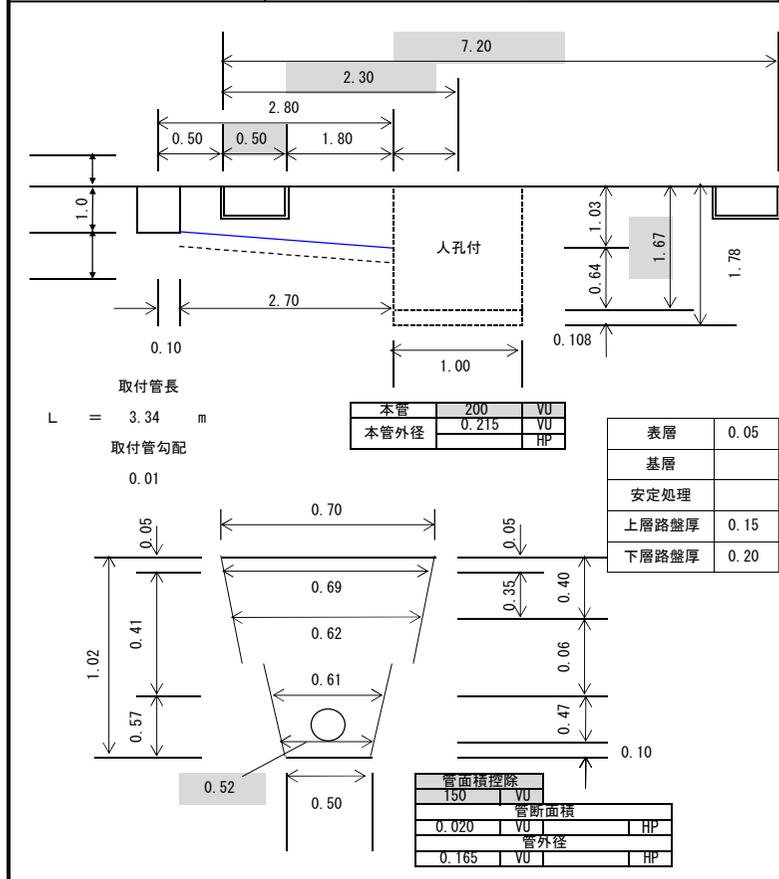


舗装版切断		1.10 * 2	= 2.20	2.20	m
舗装版破碎	本復旧分			0.73	m2
	本管・取付部	1.10 * 0.66 +	= 0.73		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分			0.04	m3
	本管・取付部	0.73 * 0.05	= 0.04		
掘削	(本管部)			0.65	m3
	(取付部)	( 0.61 + 0.50 ) / 2 * 0.56 * 2.10	= 0.65		
上下層路盤殻	本管・取付部	0.73 * 0.30	= 0.22	0.22	m3
埋戻し	(本管部)	RC-10	=		
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り) RC-40 路床	(( 0.61 + 0.52 ) / 2 * 0.46 - 0.02 ) * 2.00 * 2.00	= 0.48	0.47 m3
舗装	仮舗装	(本管部)		0.73	m2
		(取付部)	0.66 * 1.10	= 0.73	
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
A  
D  
仮復旧まで「C」→  
本復旧まで「D」→  
隣接工事との  
復旧面重複

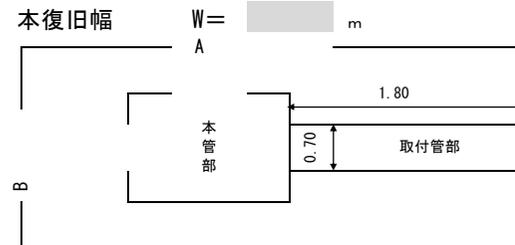


汚水柵設置及び取付管工数量集計表	No. 12	4	号	塩ビ柵	深さ	1.00	m	申請者	
------------------	--------	---	---	-----	----	------	---	-----	--



舗装版切断		1.80 * 2	= 3.60	3.60	m
舗装版破碎	本復旧分			1.26	m2
	本管・取付部	1.80 * 0.70 +	= 1.26		
As殻 (舗装版殻)	本復旧分			0.06	m3
	本管・取付部	1.26 * 0.05	= 0.06		
掘削	(本管部)			0.97	m3
	(取付部)	( 0.62 + 0.50 ) / 2 * 0.62 * 2.80	= 0.97		
上下層路盤殻	本管・取付部	1.26 * 0.35	= 0.44	0.44	m3
埋戻し	(本管部)	RC-10	=		
		RC-40			
	(取付部)	RC-10 (管周り)	(( 0.61 + 0.52 ) / 2 * 0.47 - 0.02 ) * 2.70	= 0.66	0.65 m3
		RC-40 路床	( 0.62 + 0.61 ) / 2 * 0.06 * 2.70	= 0.09	0.09 m3
舗装	仮舗装 (本管部)			1.26	m2
	(取付部)	0.70 * 1.80	= 1.26		
本復旧面積					

掘削平面図  
舗装版切断位置  
仮復旧まで「C」→  
本復旧まで「D」→  
隣接工事との  
復旧面重複



汚水柵設置及び取付管工数量集計表

路線名	軽量鋼矢板										支保工		
	各種矢板深さ (箇所数)					各種矢板施工延長 (m)					1 段	2 段	3 段
	L=2.0	L=2.5	L=3.0	L=3.5	L=3.8	L=2.0	L=2.5	L=3.0	L=3.5	L=3.8			
No. 3	1					1.0					1.0		
No. 4	1					0.5					0.5		
No. 5	1					0.5					0.5		
No. 6													
No. 7	1					3.4					3.4		
No. 8													
No. 9													
No. 10													
No. 11													
No. 12													
計	4.00					5.40					5.40		

# アルミ矢板賃料計算書

※矢板長で計算

(取付管)		当初
矢板長	$L = 2.00 \text{ m}$	
総縮切延長	$L = 5.40 \text{ m}$	
1 回当たり縮切延長	$L = 1.35 \text{ m}$	
現場搬入出を含めた供用日数		
総縮切延長×100m当たりの供用日数+現場搬入出日数		
	$5.40 \text{ m} \times 29 \text{ 日} / 100\text{m} + 2 \text{ 日} = 4.0 \text{ 日}$	
1 回当たりの使用総重量		
	$0.0101 \text{ t/枚} \times \text{同一材料 1 回使用枚数}$	
	$0.0101 \text{ t/枚} \times 1.35 \text{ m} / 0.333 \text{ m/枚} \times 2 \text{ 側}$	
	$= 0.080 \text{ t}$	
1 現場における転用回数		
総縮切延長÷1 回当たりの縮切延長		
	$5.40 \text{ m} \div 1.35 \text{ m} = 4 \text{ 回}$	
賃料日数		
	$6.00 \text{ m} \div 0.333 \text{ m} \times 2 \text{ 枚} \times 4.0 \text{ 日} = 145 \text{ 枚} \cdot \text{日}$	

土留材賃貸料金・重量計算書（アルミ矢板2.0m）（取付管）

矢板長	L = 2.00 m			
総締切延長	L = 2.7 m	(平均)	(= 1.35 m × 2.0 面)	= 2.7 m)
アルミ矢板使用枚数	N = 8.0 枚		(= 2.7 ÷ 0.333)	= 8.0)
供用日数	N = 9.0 日			
1 現場当たりの使用総重量 (t)				
	矢板1枚当たりの重量(t) (L=2.0m) × 矢板使用枚数(枚)			
	0.0101	×	8.0	= 0.081 t
① アルミ矢板賃貸料 (円)				
	矢板1枚当たりの賃貸料(円 × 矢板使用枚数(枚) × 供用日数			
		×	8.0	×
			9.0	= _____ 円
	※建設物価・積算資料の平均価格			
② アルミ矢板基本料 (円)				
	矢板1枚当たりの基本料(円 × 矢板使用枚数(枚)			
		×	8.0	= _____ 円
	※建設物価・積算資料の平均価格			
③ アルミ矢板整備費 (円)				
	矢板1枚当たりの基本料(円 × 矢板使用枚数(枚)			
		×	8.0	= _____ 円
	※建設物価・積算資料の平均価格			
④ 合計 (円)				
	アルミ矢板賃貸料 (円) + アルミ矢板基本料 (円) + アルミ矢板整備費 (円)			
		+		+
				= _____ 円

## 軽量金属支保材損料計算式（取付管）

供用日数：1段 4.00 ケ所 × 1.8 + 2日 = 9.0      供用日数合計：9.0 日  
           2段           ケ所 × 1.8 + 2日 =  
           3段           ケ所 × 1.8 + 2日 =

1. アルミ腹起こし材質料（円）      （賃料 \* 供用日数 + 整備料） × 1回1段当たり使用本数（本） × 使用段数

設置段数：  
 賃貸価格：                   （円）  
 整備料：                       （円）  
 使用本数：1回当たり使用本数（本）

1	段	段	段
	円	円	円
	円	円	円
2.0	本	本	本
9.0	日	日	日
	円	円	円

合計： - 円

2. 水圧パイプ料賃料（円）      （賃料 \* 供用日数 + 整備料） × 1回1段当たり使用本数（本） × 使用段数

設置段数：  
 賃貸価格：                   （円）  
 整備料：                       （円）  
 使用本数：1回当たり使用本数（本）

1	段	段	段
	円	円	円
	円	円	円
2.0	本	本	本
9.0	日	日	日
	円	円	円

合計： - 円

3. 水圧手動ポンプ賃料（円）      （賃料 \* 供用日数） + 整備料

供用合計日数：9               （日）  
 賃貸価格：                   （円）  
 整備料：                       （円）

円	=	9	*
円			
円			

合計： - 円

舗装工集計表-仮復旧

当初

名 称	詳 細	本管布設時(影響範囲まで)	取付管布設時			小 計	合 計
舗装版切断工	t=30cm以下 As	m	m				m
	t=20cm以下 As	628.00 m	29.60 m			657.60	657.60 m
舗装版直接掘削	t=35cm以下 As	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>
	t=15cm以下 As	314.00 m <sup>2</sup>	10.69 m <sup>2</sup>			324.69	324.70 m <sup>2</sup>
舗装版破碎	t=35cm以下 As	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>				m <sup>3</sup>
	t=15cm以下 As	15.71 m <sup>3</sup>	0.54 m <sup>3</sup>			16.25	16.00 m <sup>3</sup>
路盤掘削工		95.02 m <sup>3</sup>	3.28 m <sup>3</sup>			98.30	98.30 m <sup>3</sup>
ASガラ運搬工・処理		15.71 m <sup>3</sup>	0.54 m <sup>3</sup>			16.25	16.20 m <sup>3</sup>
路盤ガラ運搬工・処理		95.02 m <sup>3</sup>	3.28 m <sup>3</sup>			98.30	98.30 m <sup>3</sup>
仮復旧表層工 (6号復旧)	再生粗粒度As						
	t= 5 cm	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>
仮復旧表層工 (8号復旧)	再生粗粒度As						
	t= 4 cm	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>
仮復旧表層工 (4号復旧)	再生粗粒度As						
	t= 4 cm	16.30 m <sup>2</sup>	1.26 m <sup>2</sup>			17.56	17.56 m <sup>2</sup>
仮復旧表層工 (3号復旧)	再生粗粒度As						
	t= 4 cm	297.70 m <sup>2</sup>	9.43 m <sup>2</sup>			307.13	307.13 m <sup>2</sup>
仮復旧表層工 (7号復旧)	再生粗粒度As						
	t= 4 cm	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>
仮復旧基層工 (6号復旧)	RM-40						
	t= 10 cm	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>
仮復旧 (6号復旧) 上層路盤工	RM-40						
	t= 20 cm	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>
仮復旧 (8号復旧) 上層路盤工	RM-40						
	t= 20 cm	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>
仮復旧 (4号復旧) 上層路盤工	RM-40						
	t= 16 cm	16.30 m <sup>2</sup>	1.26 m <sup>2</sup>			17.56	17.56 m <sup>2</sup>
仮復旧 (3号復旧) 上層路盤工	RM-40						
	t= 11 cm	297.70 m <sup>2</sup>	9.43 m <sup>2</sup>			307.13	307.13 m <sup>2</sup>
仮復旧 (6号復旧) 下層路盤工	RC-40						
	t= 25 cm	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>
仮復旧 (8号復旧) 下層路盤工	RC-40						
	t= 30 cm	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>
仮復旧 (4号復旧) 下層路盤工	RC-40						
	t= 20 cm	16.30 m <sup>2</sup>	1.26 m <sup>2</sup>			17.56	17.56 m <sup>2</sup>
仮復旧 (3号復旧) 下層路盤工	RC-40						
	t= 20 cm	297.70 m <sup>2</sup>	9.43 m <sup>2</sup>			307.13	307.13 m <sup>2</sup>
仮復旧 (2号復旧) 下層路盤工	RC-40						
	t= 15 cm	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				m <sup>2</sup>

舗装工集計表-本復旧						当初	
(図面より)							
名 称	詳 細	本管布設時 (影響範囲まで)	取付管布設時	変則本復旧 (表層のみ)		小 計	合 計
舗装版切断工	t=30cm以下 As		m				m
	t=20cm以下 As	20.50	m	m		20.50	20.50
舗装版直接掘削	t=35cm以下 As		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
	t=10cm以下 As	955.90	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	955.90	955.90
舗装版破碎	t=35cm以下 As		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>
	t=15cm以下 As	47.80	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		47.80	48.00
路盤掘削工			m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>
ASガラ運搬工・処理		47.80	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	47.80	47.70
			m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		m <sup>3</sup>
路盤ガラ運搬工・処理			m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>			m <sup>3</sup>
表層工(3号復旧)	再生密粒度As t= 5 cm	859.80	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	859.80	
表層工(4号復旧)	再生密粒度As t= 5 cm	96.10	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	96.10	955.90
表層工(6号復旧)	再生密粒度As t= 5 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>
表層工(7号復旧)	再生密粒度As t= 5 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>
表層工(8号復旧)	再生密粒度As t= 5 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>
上層路盤工(6号復旧)	瀝青安定処理 6号復旧 t= 10 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
不陸整正工		955.90	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	955.90	955.90
上層路盤工(6号復旧)	RM-40						
	t= 20 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
上層路盤工(5号復旧)	RM-40						
	t= 20 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
上層路盤工(4号復旧)	RM-40						
	t= 15 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
上層路盤工(3号復旧)	RM-40						
	t= 10 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
下層路盤工(6号復旧)	RC-40						
	t= 25 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
下層路盤工(5号復旧)	RC-40						
	t= 30 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
下層路盤工(4号復旧)	RC-40						
	t= 20 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
下層路盤工(3号復旧)	RC-40						
	t= 20 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
下層路盤工(2号復旧)	RC-40						
	t= 10 cm		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>

## AS・路盤がら計算書

## 本管布設時

当初

路線 番号	舗装種別	延長 m	掘削幅 m	既設舗装厚 cm	取壊し面積 m <sup>2</sup>	舗装版運搬		カッター工 m
						As m <sup>3</sup>	路盤 m <sup>3</sup>	
9155-1	3号復旧	69.00	1.00	As t= 5 路盤 t= 30	69.00	3.45	20.70	138.00
9155-1	3号復旧	49.00	1.00	As t= 5 路盤 t= 30	49.00	2.45	14.70	98.00
9155-1	3号復旧	85.00	1.00	As t= 5 路盤 t= 30	85.00	4.25	25.50	170.00
9156	3号復旧	63.00	1.00	As t= 5 路盤 t= 30	63.00	3.15	18.90	126.00
9156	3号復旧	30.00	1.00	As t= 5 路盤 t= 30	30.00	1.50	9.00	60.00
9155-2	4号復旧	16.30	1.00	As t= 5 路盤 t= 35	16.30	0.82	5.71	32.60
9155-2	3号復旧	1.70	1.00	As t= 5 路盤 t= 30	1.70	0.09	0.51	3.40
合計		314.00			314.00	15.71	95.02	628.00

海老名市

仮復旧面積計算書

本管布設時

当初

路線 番号	舗装種別	延長 m	掘削幅 m	仮復旧厚 砕石厚	復旧厚 cm	復旧面積 m <sup>2</sup>	7号復旧	3号復旧	4号復旧	5号復旧	6号復旧
							m <sup>2</sup>				
9155-1	3号復旧	69.00	1.00	As t= 4 路盤 t= 31	t= 4 cm	69.00		69.00			
9155-1	3号復旧	49.00	1.00	As t= 4 路盤 t= 31	t= 4 cm	49.00		49.00			
9155-1	3号復旧	85.00	1.00	As t= 4 路盤 t= 31	t= 4 cm	85.00		85.00			
9156	3号復旧	63.00	1.00	As t= 4 路盤 t= 31	t= 4 cm	63.00		63.00			
9156	3号復旧	30.00	1.00	As t= 4 路盤 t= 31	t= 4 cm	30.00		30.00			
9155-2	4号復旧	16.30	1.00	As t= 4 路盤 t= 36	t= 4 cm	16.30			16.30		
9155-2	3号復旧	1.70	1.00	As t= 4 路盤 t= 31	t= 4 cm	1.70		1.70			
合計		314.00				314.00		297.70	16.30		





# 仮設材運搬重量集計表

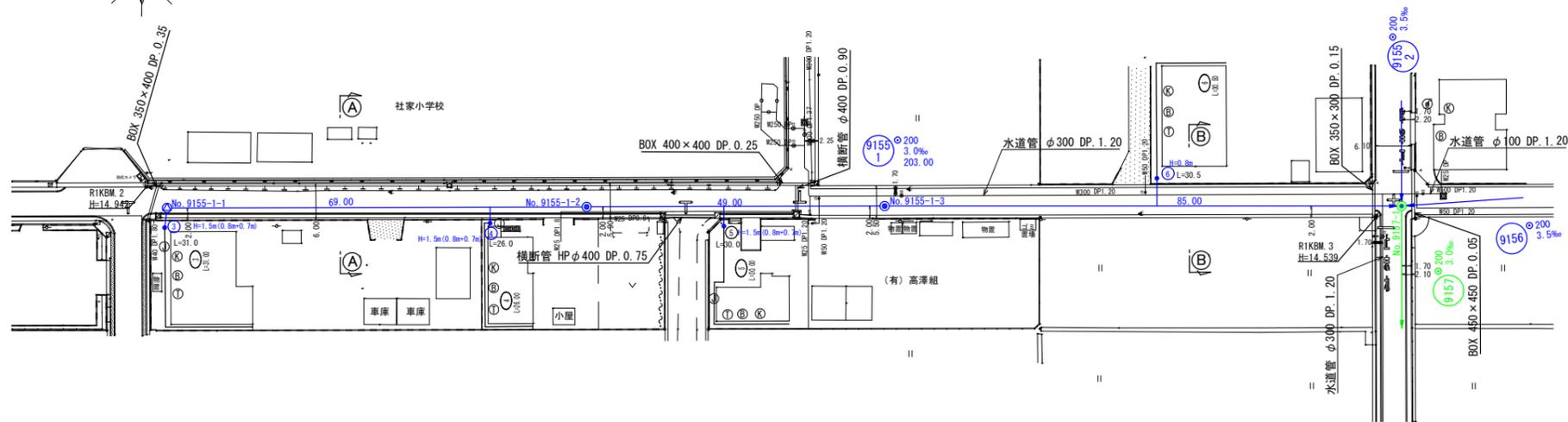
当初

種 別	矢板長	建込状況	計 算 式	単 位	数 量	備 考
アルミ矢板 ( 搬入搬出時 )	L = 2.00 m	100 %		t	0.080	取付管
	L = 2.50 m	100 %		t	0.453	本管
	L = 3.00 m	%		t		
	L = 3.50 m	%		t		
	L = 4.00 m	%		t		
				計	0.533	
				合計	0.533	
運搬使用車両				トラック	2 t	1 台

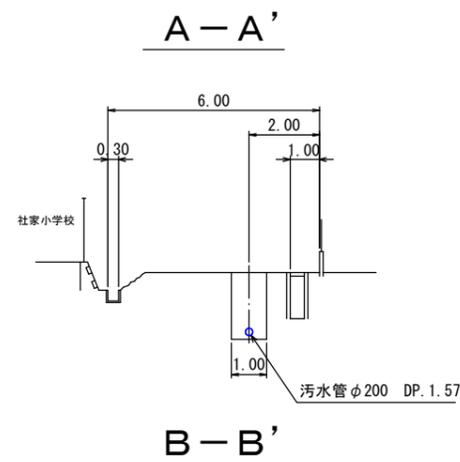
海 老 名 市



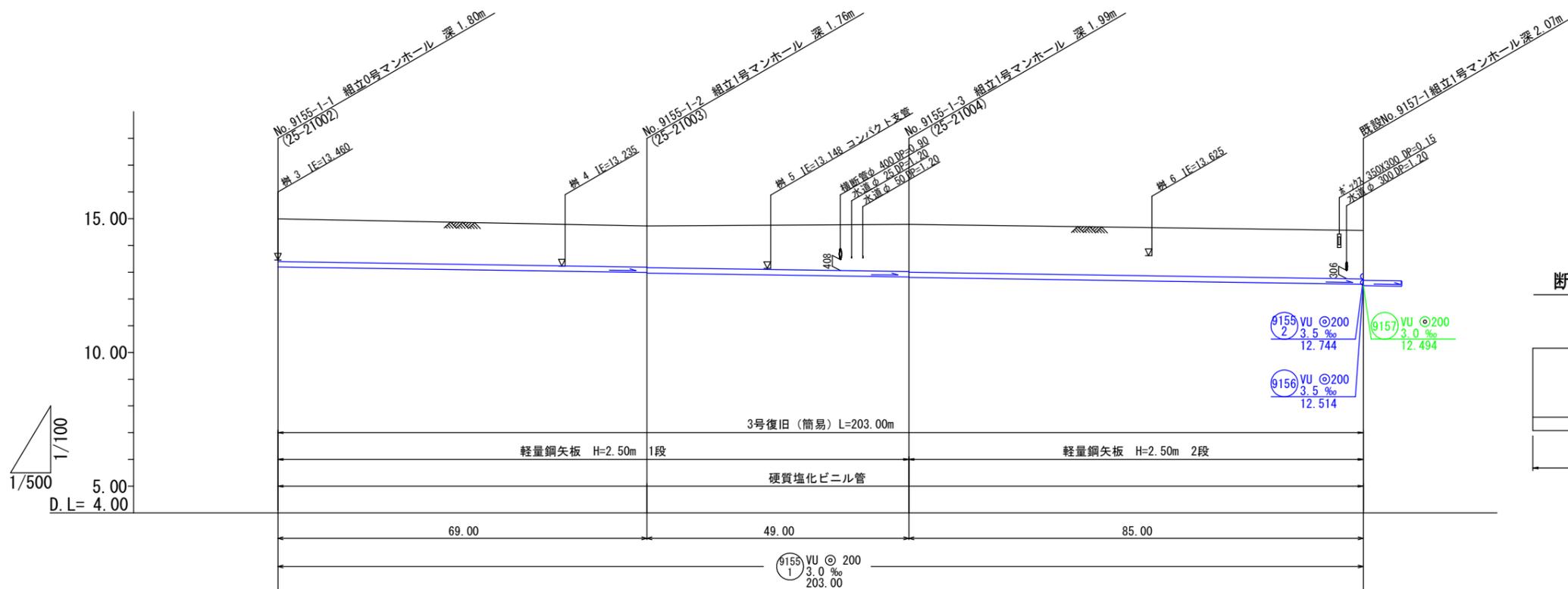
平面図 縮尺 1:500



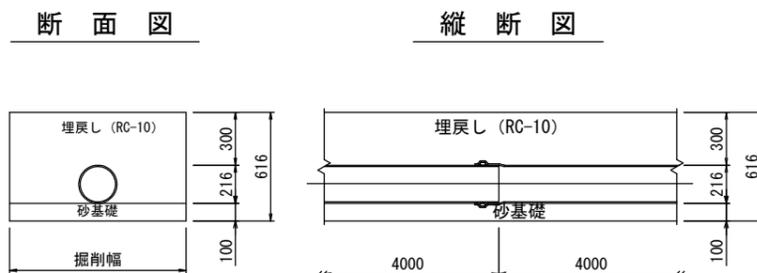
横断図 縮尺 1:100



縦断面図 縮尺 縦横 1:100 1:500

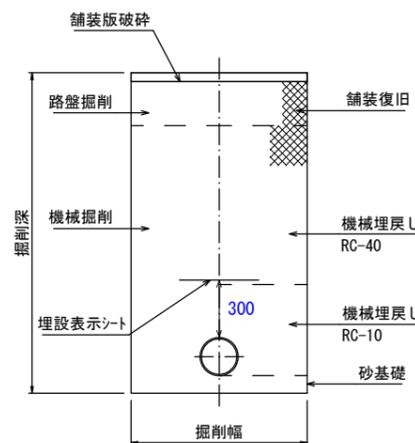


硬質塩化ビニル管基礎標準図



土工標準図

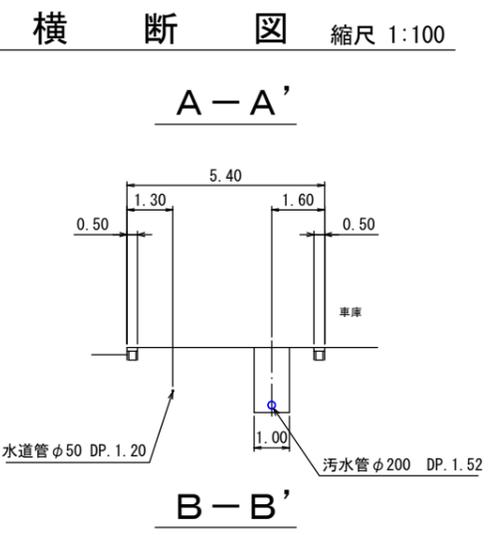
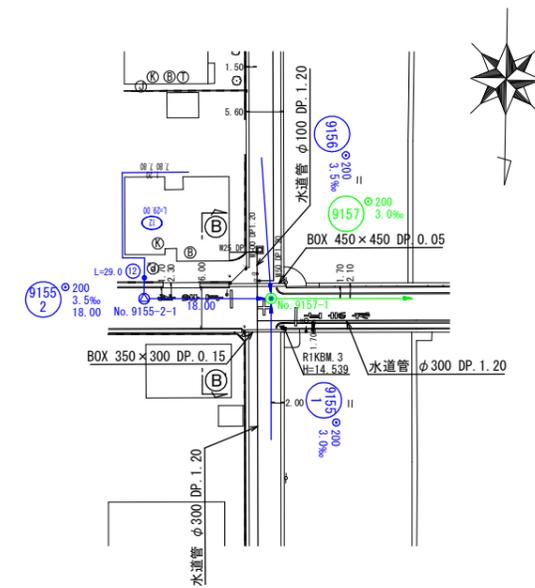
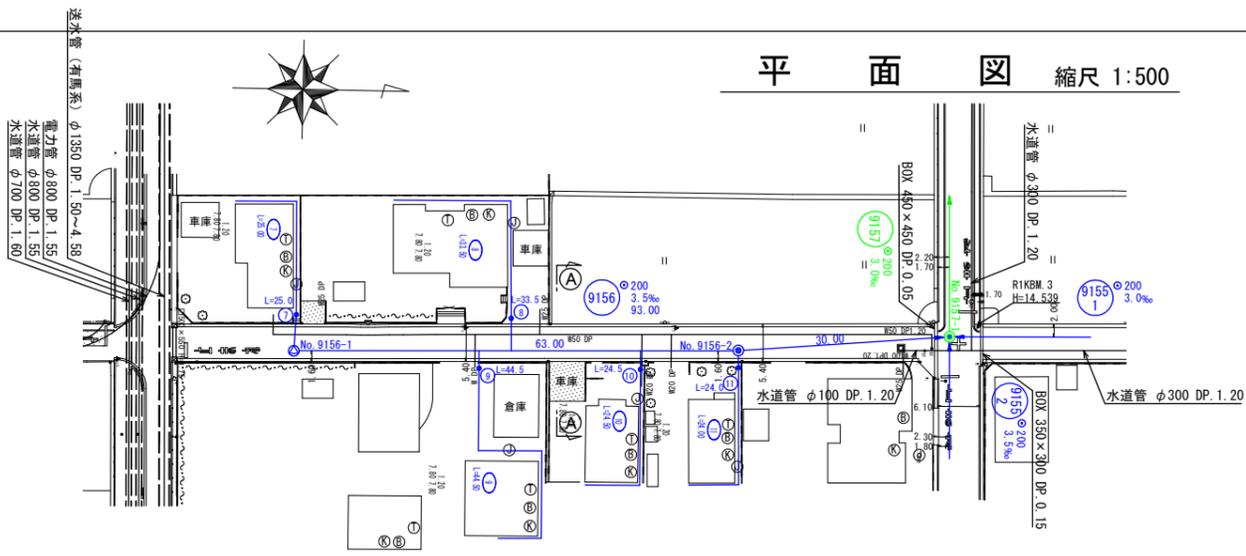
本管  
(塩ビ管φ200)  
掘削 埋戻し



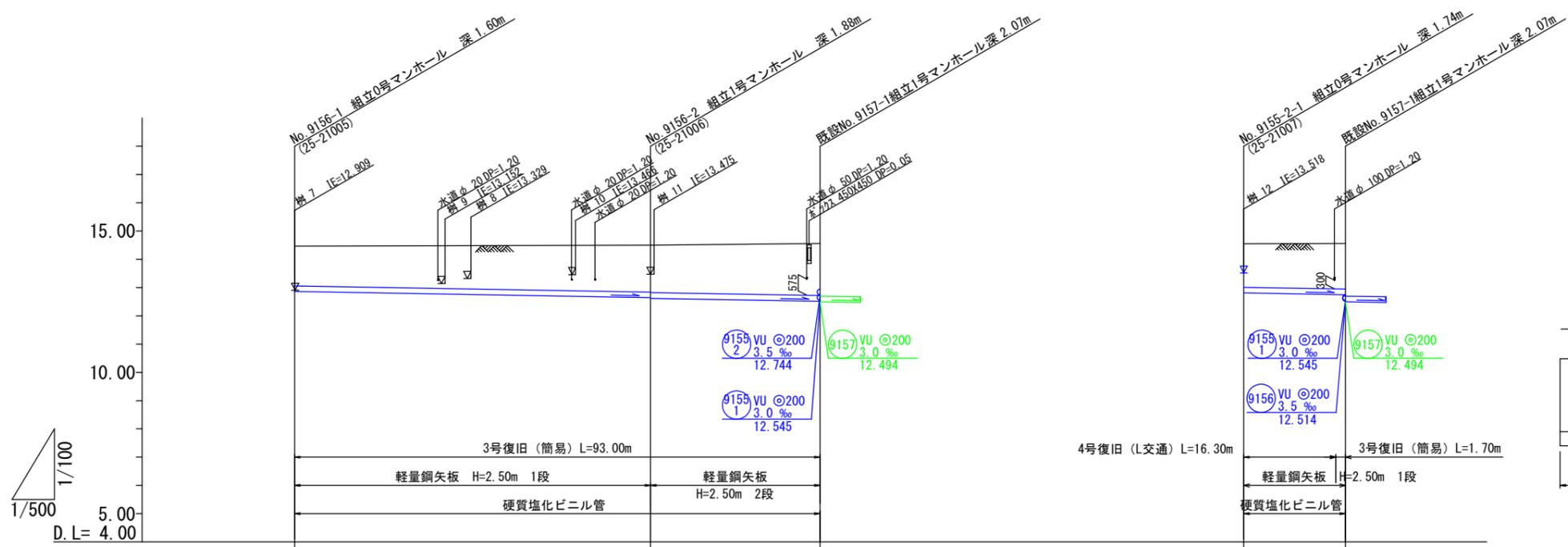
地盤高	14.99	14.73	14.79	14.56
土被り	1.59	1.54 1.56	1.76 1.78	1.81
管底高	13.194 (0.207)	12.987 12.967 (0.147)	12.820 12.800 (0.255)	12.545 (0.255)
掘削深	1.90 (1.88)	1.85 1.87 (1.98)	2.08 2.10 (2.11)	2.12 (2.11)
追加距離	0.00	69.00	118.00	203.00
単距離	0.00	69.00	49.00	85.00
人孔番号	No. 9155-1-1	No. 9155-1-2	No. 9155-1-3	No. 9157-1

路線番号	9155	1		
------	------	---	--	--

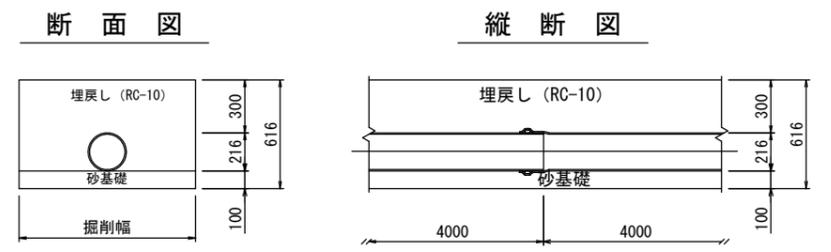
工事名	令和7年度 公共下水道40分区枝線工事
処理区名	公共下水道40分区
工事場所	海老名市社家五丁目地内
図面名	平面図・縦断面図・横断面図
図面番号	全8葉の内 第1号
神奈川県海老名市役所	



### 縦断面図 縮尺 縮尺 縦横 1:100 1:500



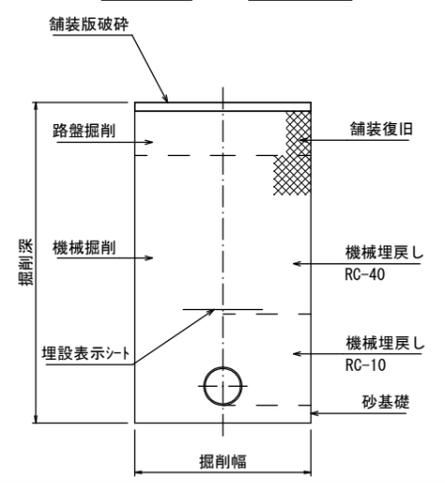
### 硬質塩化ビニル管基礎標準図



### 土工標準図

本管  
(塩ビ管φ200)

掘削 埋戻し



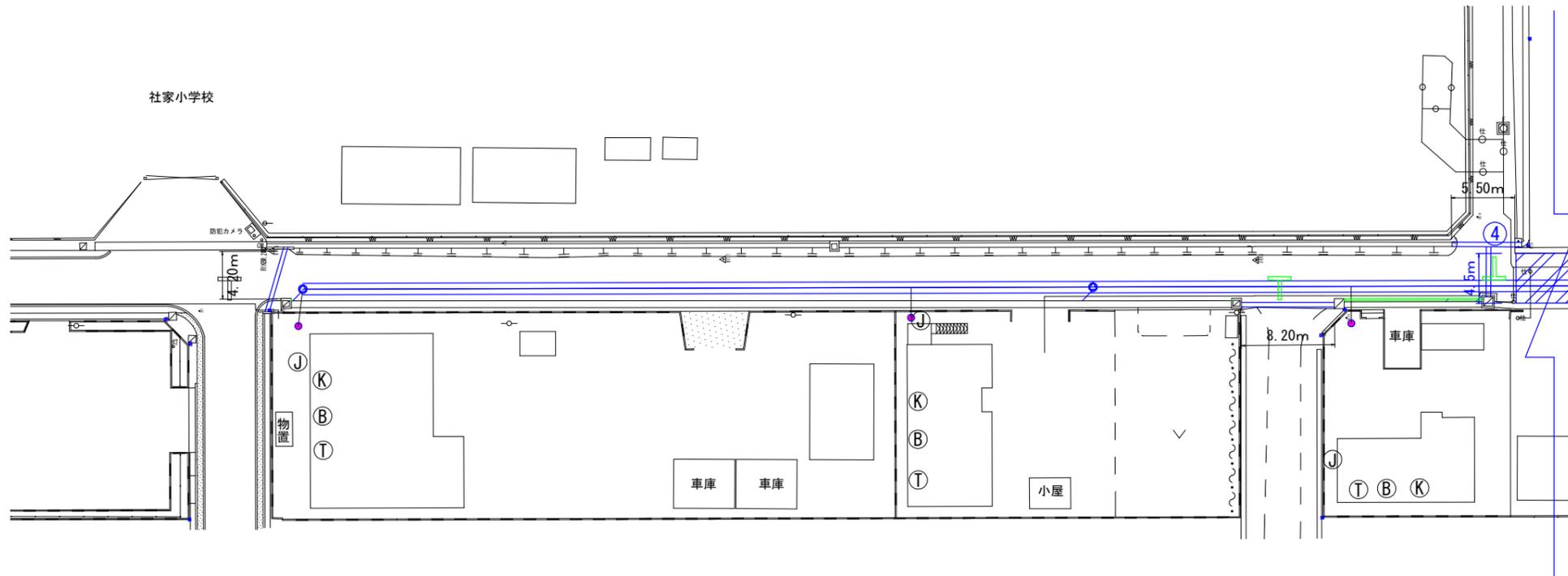
路線番号

9156	9155		
	2		

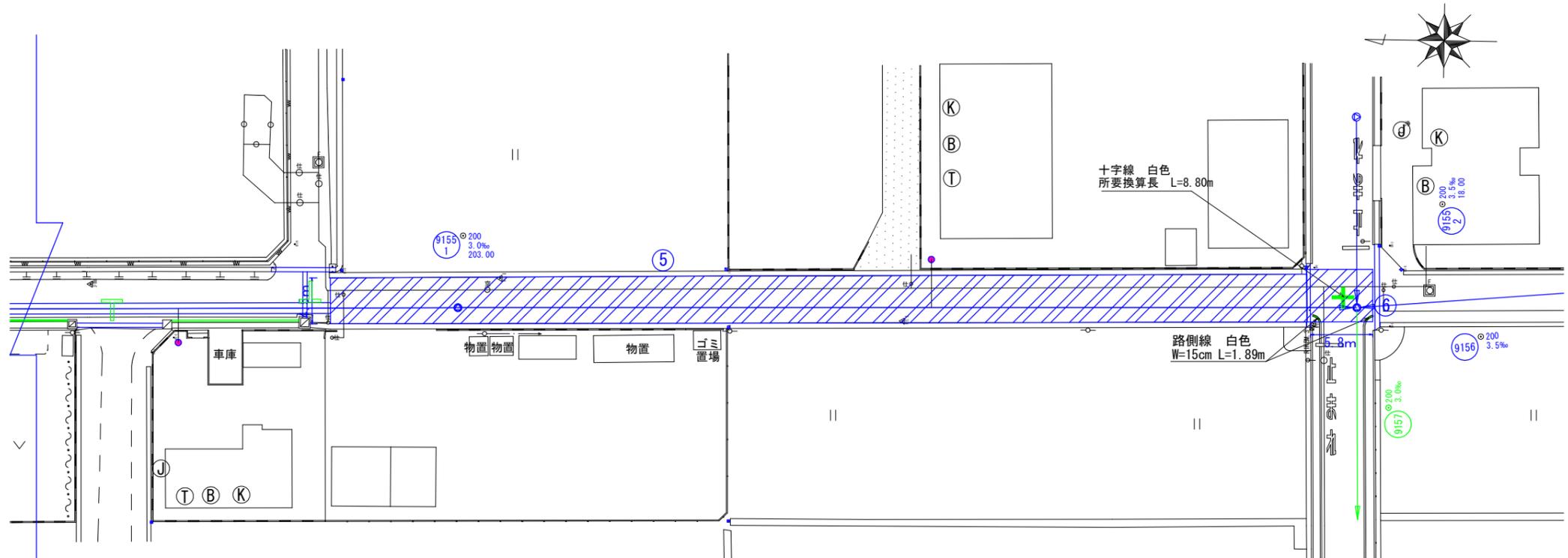
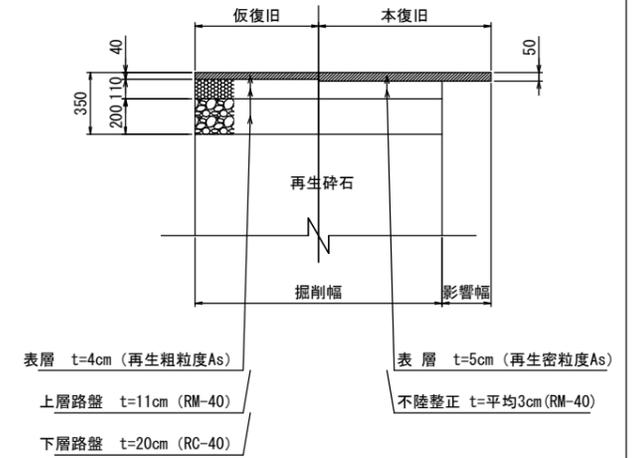
地盤高	14.46	14.50	14.56	14.55	14.56
土被り	1.39	1.65 1.67	1.84	1.54	1.61
管底高	12.859	(0.220)	12.619 12.619	(0.063)	12.744
掘削深	1.71	1.97 1.99	2.15	1.85 (1.89)	1.92
追加距離	0.00	63.00	93.00	0.00	18.00
単距離	0.00	63.00	30.00	0.00	18.00
人孔番号	No. 9156-1	No. 9156-2	No. 9157-1	No. 9155-2-1	No. 9157-1

工事名	令和7年度 公共下水道40分区枝線工事
処理区名	公共下水道40分区
工事場所	海老名市社家五丁目地内
図面名	平面図・縦断面図・横断面図
図面番号	全8葉の内第2号
神奈川県海老名市役所	

復旧平面図（その1）縮尺 1:250



3号復旧（簡易）



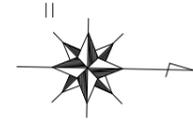
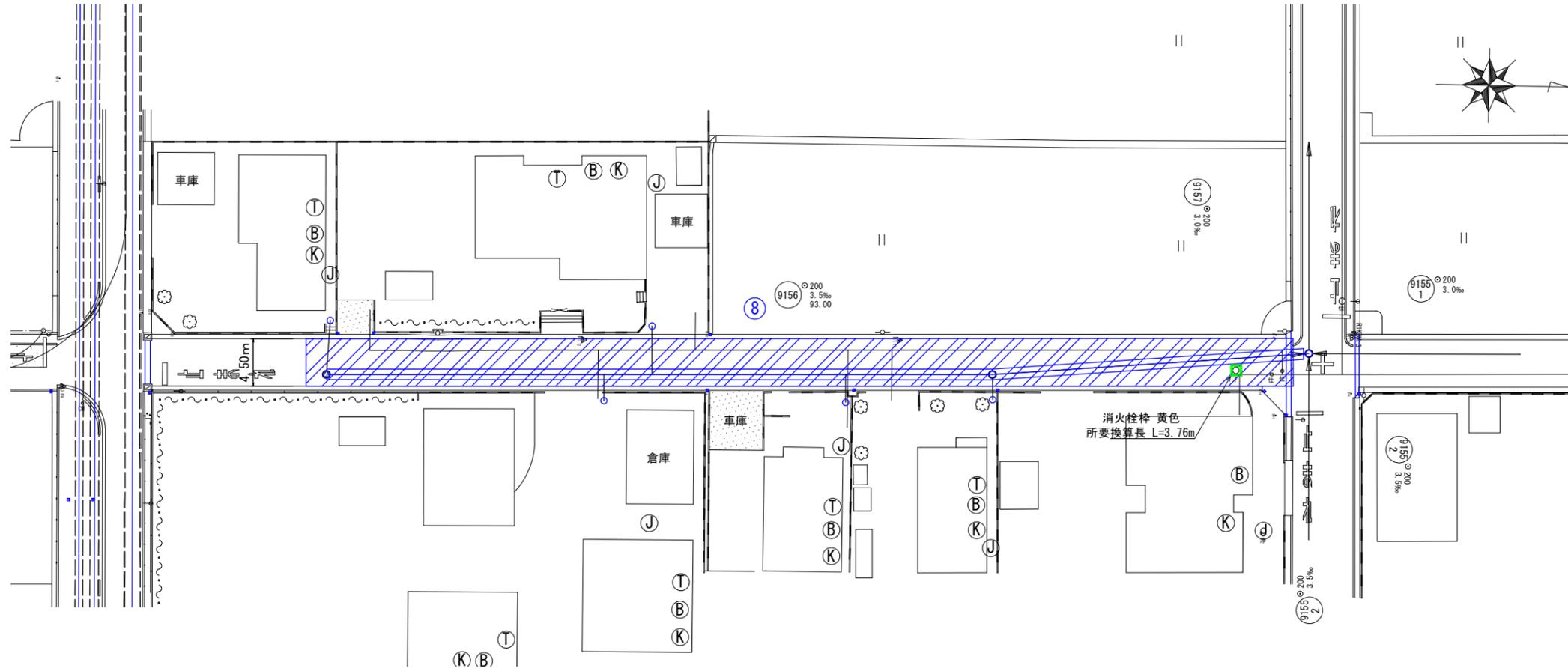
9155-1路線

3号復旧（簡易）

⑤ 舗装復旧 A=411.00m<sup>2</sup>  
 ⑥ 舗装復旧 A=30.50m<sup>2</sup>  
 合計 A=441.50. m<sup>2</sup>

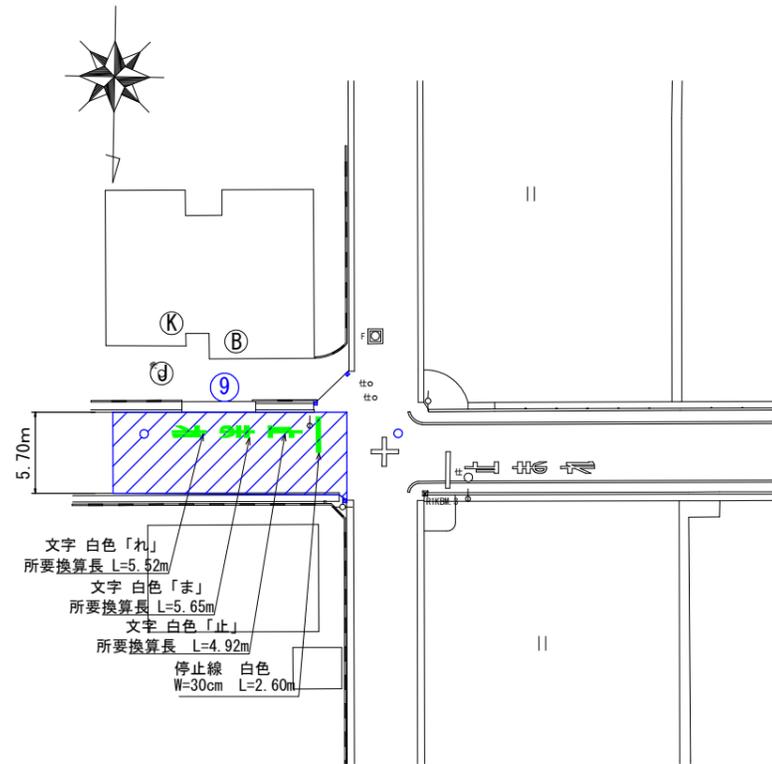
工事名	令和7年度 公共下水道40分区枝線工事
処理区名	公共下水道40分区
工事場所	海老名市社家五丁目地内
図面名	復旧平面図(1) 縮尺 1:250
図面番号	全8葉の内 第3号
神奈川県海老名市役所	

復旧平面図（その2）縮尺 1:250

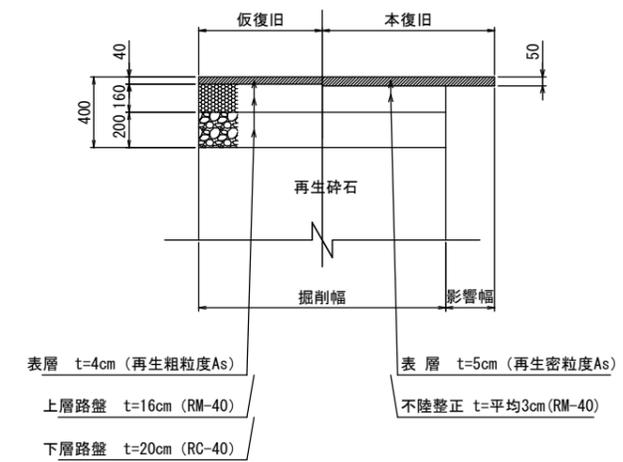
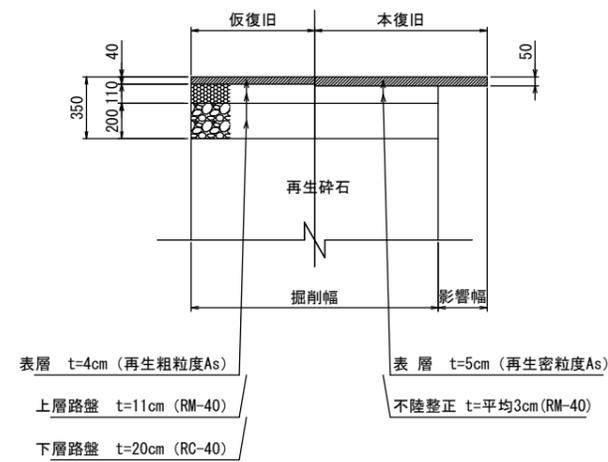


3号復旧（簡易）

4号復旧（L交通）



文字 白色「れ」  
所要換算長 L=5.52m  
文字 白色「ま」  
所要換算長 L=5.65m  
文字 白色「止」  
所要換算長 L=4.92m  
停止線 白色  
W=30cm L=2.60m

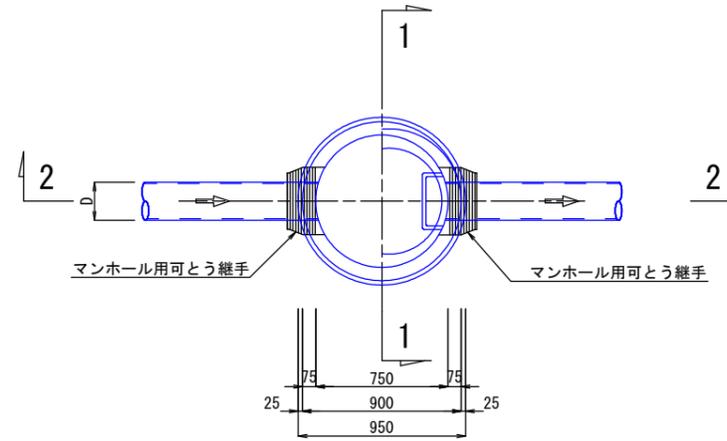


9156路線  
3号復旧（簡易） ⑧ 舗装復旧 A=418.30m2  
9155-2路線  
4号復旧（L交通） ⑨ 舗装復旧 A=96.10m2

工事名	令和7年度 公共下水道40分区枝線工事
処理区分	公共下水道40分区
工事場所	海老名市社家五丁目地内
図面名	復旧平面図（2） 縮尺 1:250
図面番号	全 8 葉の内 第 4 号
神奈川県海老名市役所	

# 0号組立マンホール標準構造図 S=1:20

## 平面図



- ※50mmの調整リングは使用しないこと。
- ※マンホール深さ3~5mごとに中間スラブを設ける。
- ※緊急輸送路または車道が2車線以上の場合は、マンホール蓋はT-25を使用する。
- ※マンホール深さ2.0m以上は転落防止梯子付鉄蓋とすること。
- ※調整モルタルは30mm以上とする。
- ※歩道マウンドアップ部では、300mm斜壁ブロックは使用不可とする。

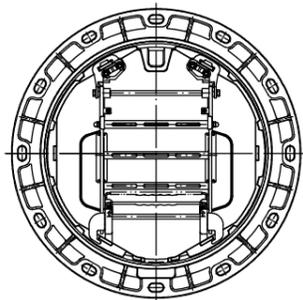
マンホール蓋



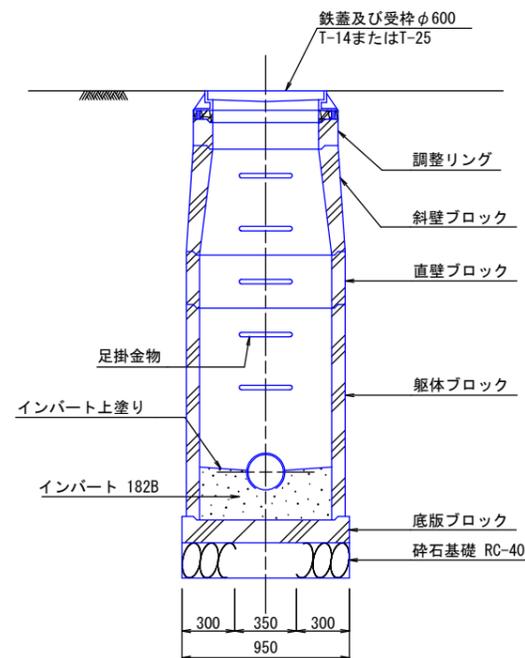
マンホール枠



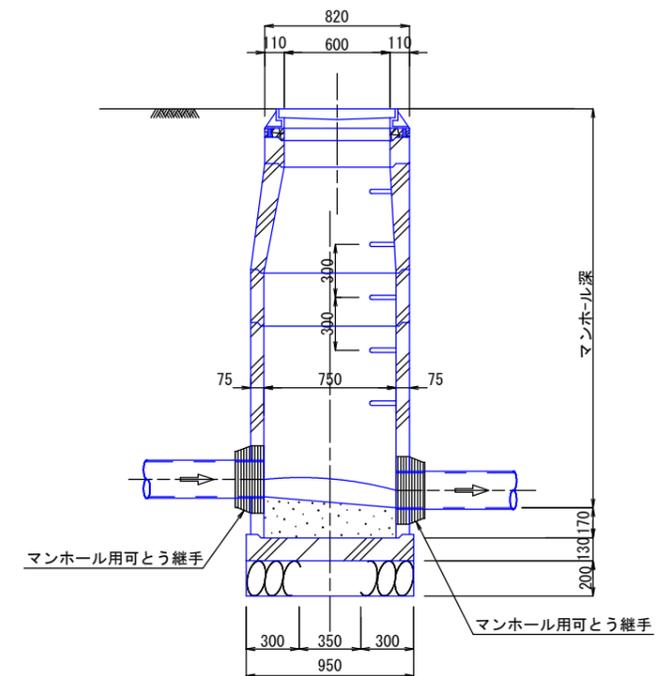
転落防止梯子付



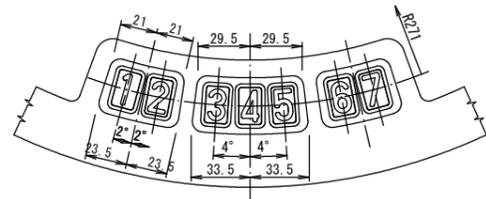
## 1-1断面図



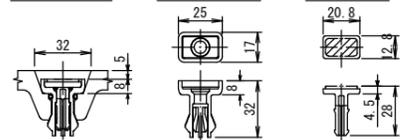
## 2-2断面図



キャップ取付平面図



キャップ取付断面図 外枠キャップ詳細図 キャップ詳細図



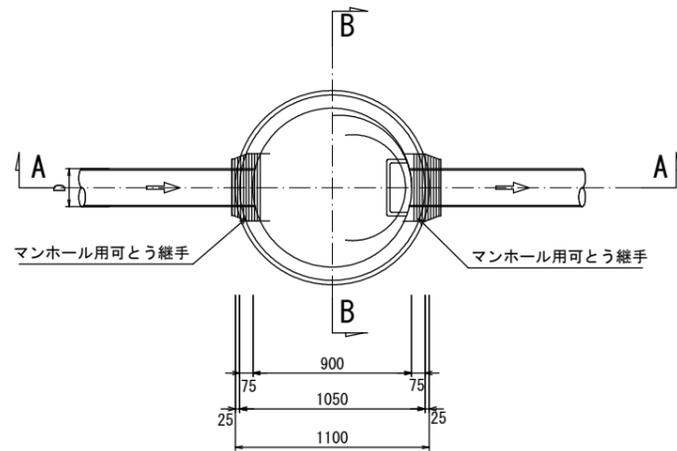
工事名	令和7年度 公共下水道40分区枝線工事
処理区名	公共下水道40分区
工事場所	海老名市社家五丁目地内
図面名	0号組立マンホール標準構造図 1:20
図面番号	全8葉の内 第5号
神奈川県海老名市役所	

# 1号組立マンホール標準構造図 縮尺 1:20

※人孔深さH=2.00m以上は転落防止梯子付鉄蓋とすること

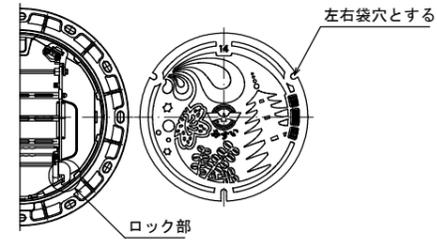
※緊急輸送路及び2車線以上の場合は  
マンホール蓋はT-25を使用すること  
※調整リングは50mmは使用不可とすること  
※調整モルタルは30mm以上使用すること

平面図

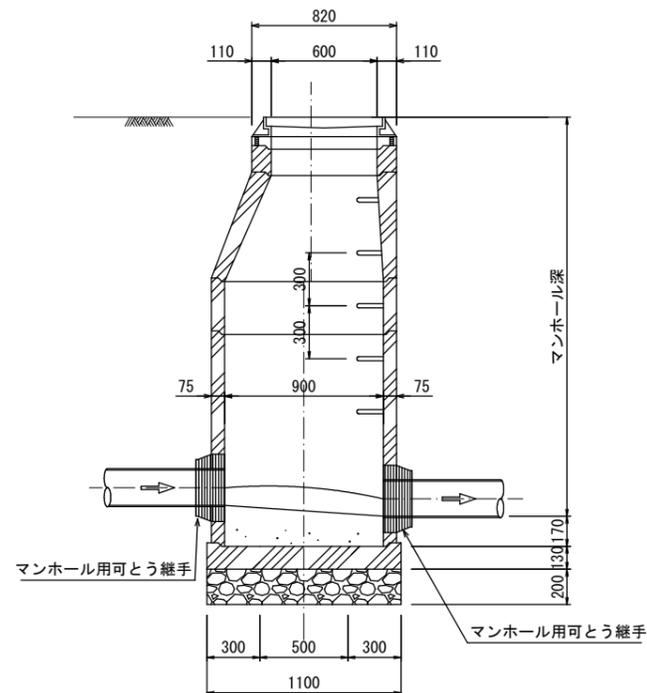


指定鉄蓋

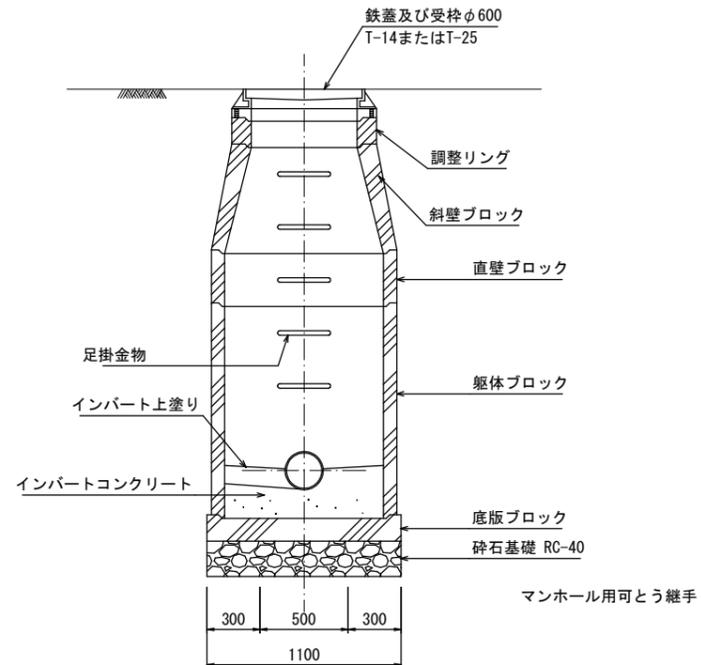
縮尺無し(参考図)



A-A 断面図



B-B 断面図



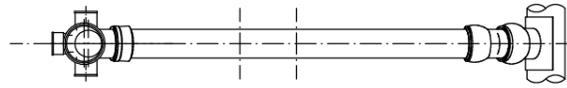
工事名	令和7年度 公共下水道40分区枝線工事
処理区名	公共下水道40分区
工事場所	海老名市社家五丁目地内
図面名	1号組立マンホール標準構造図 縮尺 1:20
図面番号	全 8 葉の内 第 6 号
神奈川県海老名市役所	

汚水樹取付管標準図

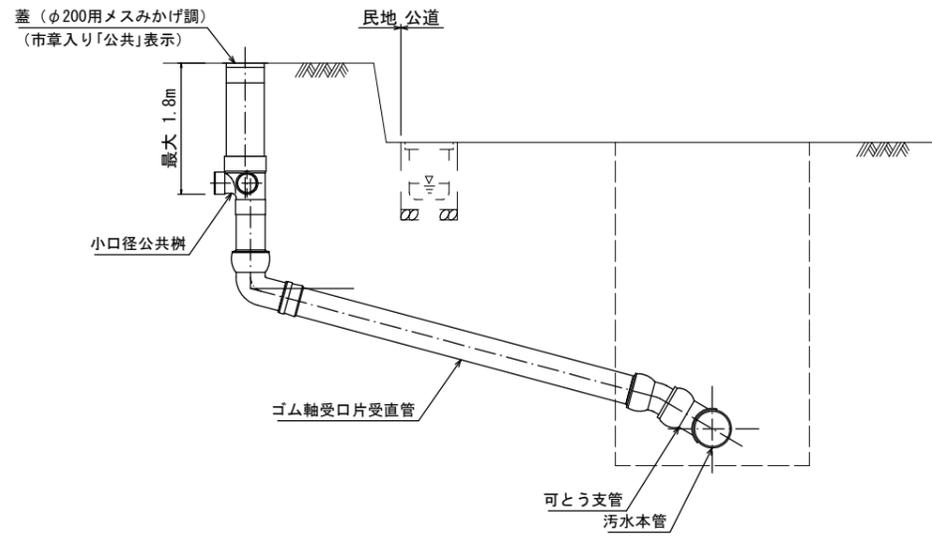
取付管・土工標準図 縮尺 1:20

縦型

平面図

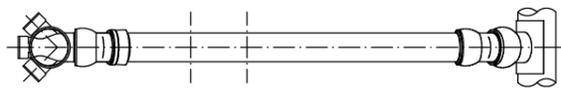


縦断図

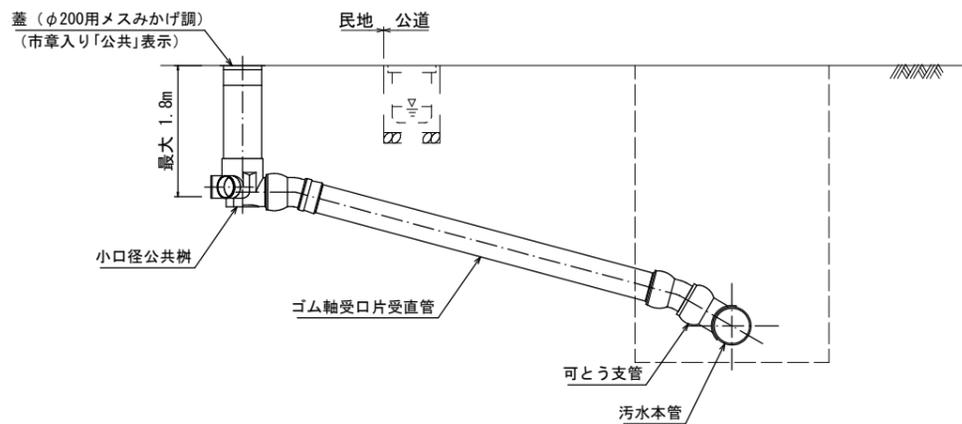


横型

平面図



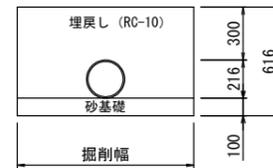
縦断図



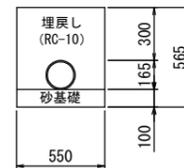
※取付管及び公共樹は地権者の意向を確認してからの施工となる。

硬質塩化ビニル管基礎標準図

断面図



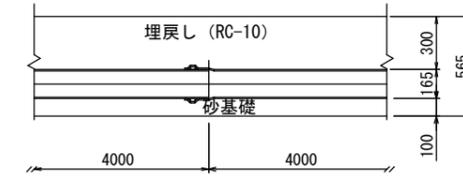
断面図(取付管部)



縦断図



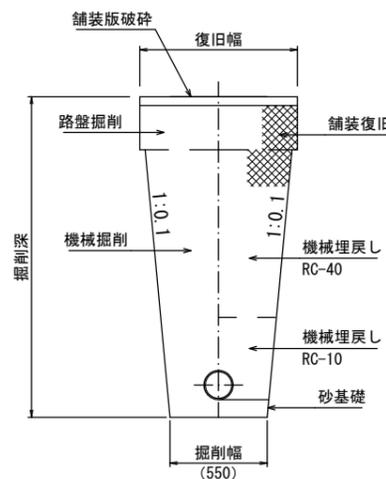
縦断図(取付管部)



土工標準図

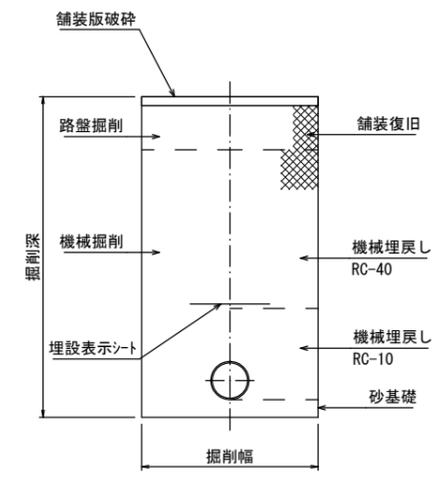
取付管  
(塩ビ管φ150)

掘削 埋戻し



本管  
(塩ビ管φ200)

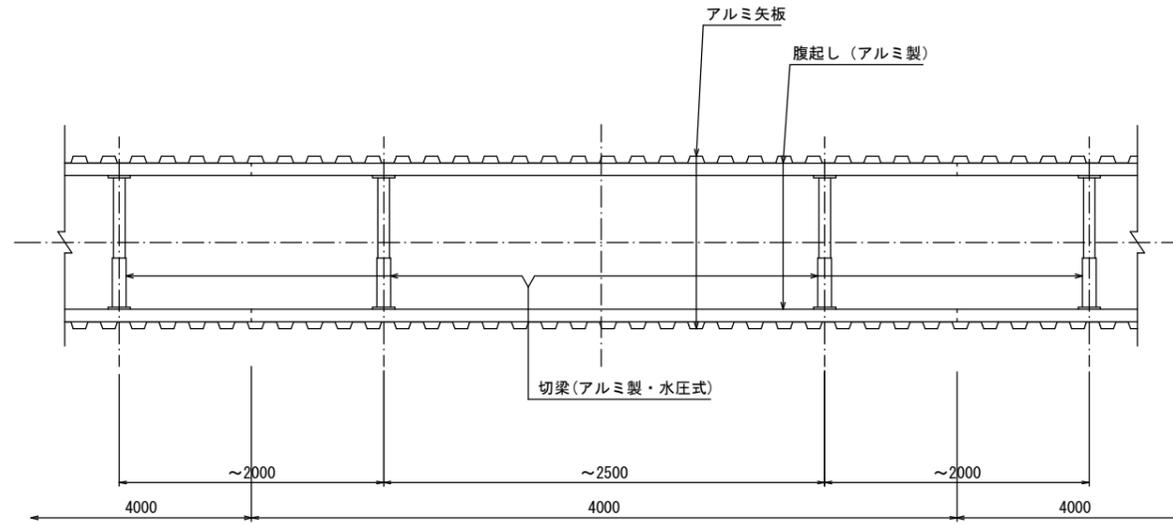
掘削 埋戻し



工事名	令和7年度 公共下水道40分区枝線工事
処理区名	公共下水道40分区
工事場所	海老名市社家五丁目地内
図面名	取付管・土工標準図 縮尺 1:20
図面番号	全 8 葉の内 第 7 号
神奈川県海老名市役所	

# アルミ矢板土留工標準図 縮尺 1:20

## 平面図



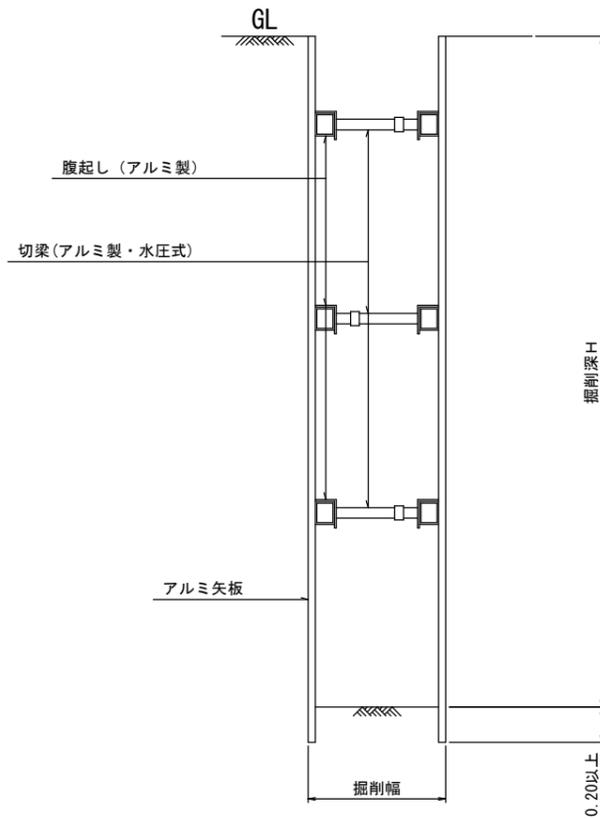
※) 切梁間隔は掘削深度、施工状況を考慮し、安全な間隔で設置すること。

矢板設置基準

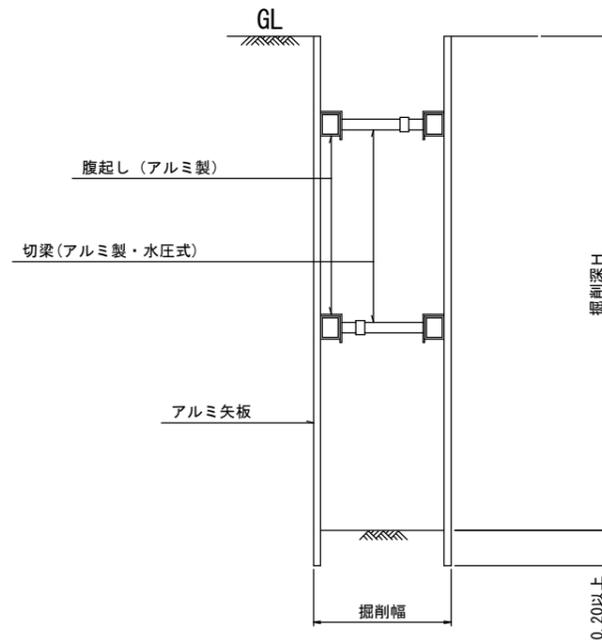
掘削深 (m)	矢板材 矢板長 (m)	支保工段数
$1.5 < H \leq 1.8$	2.0	1
$1.8 < H \leq 2.0$	2.5	1
$2.0 < H \leq 2.3$	2.5	2
$2.3 < H \leq 2.8$	3.0	2
$2.8 < H \leq 3.3$	3.5	2
$3.3 < H \leq 3.5$	4.0	2
$3.5 < H \leq 3.8$	4.0	3

## 断面図

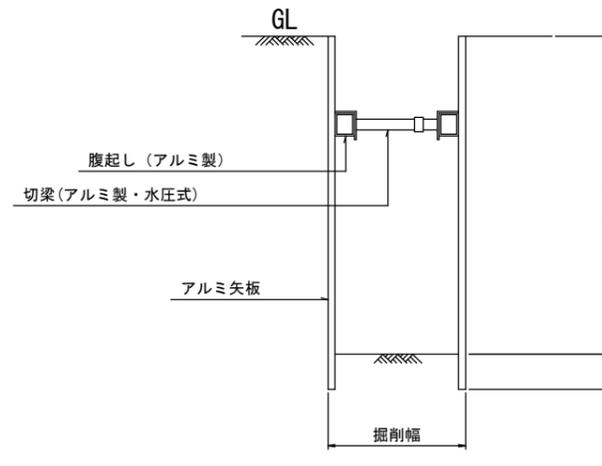
3 段支保  
 $3.50\text{m} < H \leq 3.80\text{m}$



2 段支保  
 $2.00\text{m} < H \leq 3.50\text{m}$



1 段支保  
 $1.50\text{m} < H \leq 2.00\text{m}$



工事名	令和7年度 公共下水道40分区枝線工事
処理区名	公共下水道40分区
工事場所	海老名市社家五丁目地内
図面名	アルミ矢板土留工標準図 縮尺 1:20
図面番号	全 8 葉の内 第 8 号
神奈川県海老名市役所	